

# 消防年報

令和5年版



佐賀広域消防局指令センター



## 佐賀広域消防局

## まえがき

佐賀広域消防局では、住民の生命、身体及び財産を守り、住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるため、消防団はもとより、関係市町や関係機関との緊密な連携の強化を図っています。また、複雑多様化する災害に的確かつ効率的に対応できる消防体制の検討や職員の資質向上、消防施設、車両などの整備を図り、消防業務を進めています。

この消防年報は、住民の方や消防関係者をはじめ、多くの方々に佐賀広域消防局の現勢と消防に関する各種資料を紹介することを目的として編集しています。より多くの方々にご活用いただければ幸いに存じます。

消防年報資料は原則として暦年で記載し、これによらないものについてはそれぞれの年月日及び期間にて作成いたしました。

令和5年7月

佐賀広域消防局

### ※管内合併の状況

- ・平成12年4月1日：佐賀市消防本部、多久市消防本部、佐賀郡消防事務組合消防本部及び小城地区消防事務組合消防本部が合併
- ・平成25年4月1日：佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部が合併

2023年度 全国統一防火標語

**火を消して 不安を消して つなぐ未来**

2023年度 危険物安全週間推進標語

**意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ**

# 令和5年版消防年報もくじ

## 概 要

○ 消防局の管内一目統計	————	3
○ 地 勢、気 象	————	4
○ 位置図	————	5
○ 構成市町の紹介	————	6
○ 佐賀広域消防局管内の人口等推移	————	8
○ 消防庁舎の現況	————	9
○ 消防車両一覧表	————	14
○ 佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要	————	15
○ 各種協定の状況	————	17

## 総 務

I 組織	————	21
○ 佐賀中部広域連合機構		
○ 佐賀広域消防局組織図		
II 財政	————	23
○ 消防費当初予算、令和5年度消防費予算に対する住民の負担状況		
III 人事	————	24
○ 職員配置状況		
○ 年齢別職員数		
○ 勤続年数別職員数		
○ 職員の特殊技能・資格取得状況		
IV 消防音楽隊	————	30
○ 消防音楽隊		
V 消防団	————	31
○ 消防団の概要、消防団現勢		
○ 年齢別消防団員数		
○ 消防団組織図		

## 予 防

I 防火対象物	————	39
○ 建築物申請処理状況		
○ 用途別防火対象物使用開始届出状況		
○ 防火対象物数		
○ 中高層建築物(4階以上)		
II 危険物施設	————	43
○ 数量別危険物施設数、危険物施設数		
III 防火クラブ	————	44
○ 幼少年女性防火委員会、幼年・少年消防クラブ、女性防火クラブ		

## 警 防

I 警防	————	47
○ 緊急消防援助隊の紹介		
○ 消防水利の状況		
II 救急	————	51
○ 応急手当普及啓発活動実施状況		
○ 救マーク制度、救急資器材保有状況		
III 救助	————	54
○ 救助資機材保有状況		
○ 国際消防救助隊の紹介		

## 通 信

I 通信	————	61
○ 指令管制業務の概要		
○ 指令管制システムの構成図		
○ デジタル無線設備システム系統図		
○ 無線局の配置状況		

## 統計(災害出動状況)

I 火災	————	67
○ 火災の種別、令和4年中の火災概要		
○ 火災発生状況		
○ 月別用途別火災発生状況		
○ 月別原因別火災発生状況		
○ 過去3年間の火災発生状況		
○ 過去3年間の火災原因		
II 救急	————	73
○ 救急事故の種別、令和4年中の救急出動概要		
○ 事故種別救急出場件数・搬送人員		
○ 月別救急出場件数・搬送人員		
○ 年齢別搬送人員		
○ 曜日別救急出場件数		
○ 過去3年間の救急出場件数		
III 救助	————	79
○ 救助事故の種別、令和4年中の救助出動概要		
○ 市町別事故種別救助出動件数・救助人員		
○ 過去3年間の事故種別救助出場件数		
IV 警戒	————	82
○ 警戒出動の種別、令和4年中の警戒出動概要、事故種別警戒出動状況		
V 通信	————	83
○ 119番受信状況		

# ○概要

---





## 消防局の管内一目統計

令和5年4月1日現在(火災・救急、救助・通信は令和4年中)

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	793.31km <sup>2</sup>	337,755人		147,279世帯
	佐賀市 431.82 km <sup>2</sup>	佐賀市 228,553 人	426人/km <sup>2</sup>	佐賀市 103,284 世帯
	多久市 96.56 km <sup>2</sup>	多久市 18,076 人		多久市 7,892 世帯
	小城市 95.81 km <sup>2</sup>	小城市 44,193 人		小城市 17,203 世帯
	神崎市 125.13 km <sup>2</sup>	神崎市 30,792 人		神崎市 12,213 世帯
	吉野ヶ里町 43.99 km <sup>2</sup>	吉野ヶ里町 16,141 人		吉野ヶ里町 6,687 世帯

予算・機構・人事	消防予算	局・署・所	職員数	消防団員数
	54億4014万円 住民1人当り 16,107円 1世帯当り 36,938円	消防局 1 消防署 6 分署 3 出張所 5	定数 425 人  実員 425 人 (定数外職員25人除く)	定員 6,269人 実員 5,780人  (内女性団員160人)

機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救急車	水利
	ポンプ車 17台 (救助ポンプ車4台含む) タンク車 9台	はしご車 3台 救助工作車 3台 化学車 3台 災害支援車 2台 水難救助車 1台	高規格救急車 20台  (非常用救急自動車含む)	消火栓 4,245基 防火水槽 1,032基

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	救急事故種別
	108件 3.4日に1件の割合で発生	① 火入れ 15件 ② たき火 9件 ③ こんろ 7件 ④ 排気管 6件	17,928件 1日当り49.1件の割合で発生	① 急病 10,618件 ② 転院搬送 2,478件 ③ 一般負傷 2,259件 ④ 交通事故 1,163件

救助・通信	救助件数	救助事故種別	119番受信件数	災害別119番受信状況
	332件 1日に0.9件の割合で発生	① その他の事故 136件 ② 交通事故 95件 ③ 建物等による事故 69件 ④ 水難事故 14件	28,563件 1日当り78.3件 (問合わせ、試験等含む)	火災 149件 救急 15,506件 救助 219件 警戒 1,581件

予防	防火対象物	中高層建築物(4階以上)	危険物施設	市民防火
	消防用設備設置対象 13,759件	4階～9階 942件 10階以上 94件	製造所 9件 貯蔵所 661件 取扱所 346件	幼年消防クラブ 76クラブ 4,580人 少年消防クラブ 4クラブ 189人 女性防火クラブ 1クラブ 7人

## 地 勢

佐賀広域消防局管内は九州北西部に位置する佐賀県の中央部にあり、北は脊振山地から南は有明海に達します。

佐賀地方で前海(まえうみ)と呼ばれる有明海は、およそ8万年前の阿蘇山の大噴火によって九州全体に積もった土砂が風化して粘土質の泥に変わり、この泥が川によって海へ運ばれ、大きな干満に伴う潮位変動により堆積したことで広大な干潟となったといわれています。

この海は多くの河川が流れ込むことから栄養分が多く、全国有数のノリ養殖漁場となっているほか、秋には紅葉を見せる塩生植物のシチメンソウやムツゴロウなどといった国内では他に見られないめずらしい生物が約15種類も生息しています。

当消防局は、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町の4市1町で構成されており、その管内面積793.31k㎡のうち、北部の山間部が約41%、西部の盆地が約11%で、それらを除くほとんどの土地は平坦な平野となっています。宅地・道路などの都市的利用以外は農地などの自然的利用とされていることから、春から夏にかけては緑のじゅうたんを敷き詰めたような田畑の景色を見ることができます。

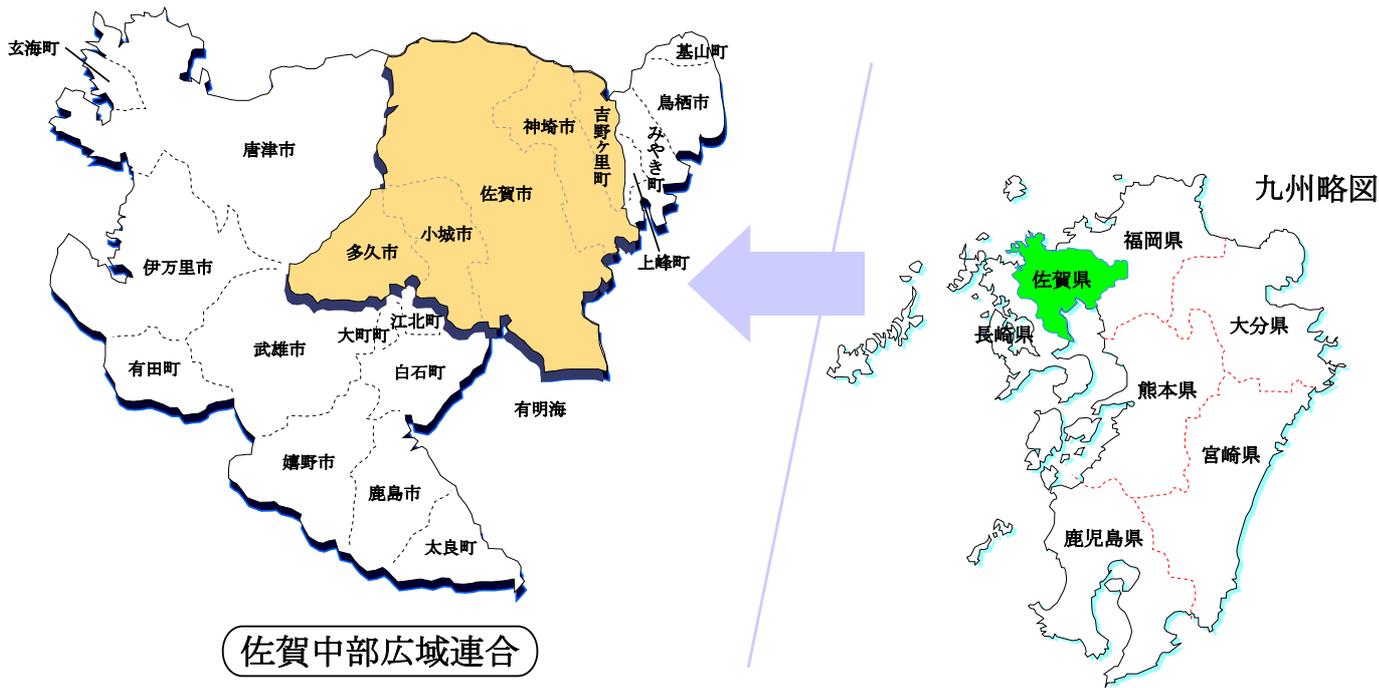
また、管内を流れる主要河川である嘉瀬川をはじめ、平野部では河川、クリーク、水路が発達しており、農業用水としてのみならず火災時における消防用水としての役割も果たすなど、住民に多くの恩恵を与えています。

## 気 象

令和4年中の最高気温は7月で37.4度、最低気温は2月で-2.2度を記録しましたが、年間の平均気温は17.7度、平均湿度は69%と、比較的しのぎやすい温和な気候です。

しかし、年によっては異常高温や大雨などの異常気象となることがあります。

# 位置図



佐賀中部広域連合



佐賀広域消防局管内図

# 構成市町の紹介

## 佐賀市

SagaCity



市の木  
いちよう

市の花  
さくら

人口： 228, 553人  
面積： 431. 82km<sup>2</sup>



佐賀国際バルーンフェスタ

佐賀市は、長崎街道沿いに往時の面影を残す歴史ある城下町であり、北部の森林と佐賀平野の緑、南には豊穡の有明海をのぞむ自然豊かな町でもあります。また、国際バルーンフェスタをはじめとするイベントや、温泉、個性的な動植物が生息する干潟など、多彩な魅力がいっぱいです。

平成27年7月には、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られた「三重津海軍所跡」が、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして、世界文化遺産に登録されました。



有明海



三重津海軍所跡の木製護岸

## 多久市

TakuCity



市の木  
かえで

市の花  
うめ

人口： 18, 076人  
面積： 96. 56km<sup>2</sup>



多久聖廟(国重要文化財)

「朋有り 遠方より来る 亦楽しからずや……」緑豊かな文教の地、多久市は、日本三大孔子廟の一つ多久聖廟をもつ孔子の里として、東原摩舎(藩校を復元した研修施設)、四季を楽しめる西溪公園や武家屋敷など歴史と文化の香りが漂うまちです。



西溪公園

## 小城市

OgiCity



市の木  
さくら

市の花  
さくら

人口： 44, 193人  
面積： 95. 81km<sup>2</sup>



清水の滝

小城市は、北には秀峰天山、南には宝の海有明海を有しています。春には満開の桜、夏には蛍の乱舞、秋には棚田の彼岸花、冬には美味なる有明海の幸など、1年を通じて見どころが満載です。



小城公園の桜

## 構成市町の紹介

### 神崎市

KanzakiCity



市の木  
もみじ

市の花  
さくら



国の名勝 九年庵

人口： 30, 792人  
面積： 125. 13km<sup>2</sup>

神崎は古代から常に人の往来と定住があった所で、弥生時代には巨大環濠集落、奈良時代には神崎郡衙、中世には平家の基礎財力がこの地で蓄えられました。

江戸時代、長崎街道神崎宿には本陣、脇本陣が備えられ東肥前の経済の中心を成していきました。

脊振山頂からの標高差のある風景は観光素材となり、特に九年庵は九州の紅葉の名所として知られています。



神崎市マスコットキャラクター  
くねんワン・くねんニャン

### 吉野ヶ里町

Yoshinogari Town



町の木  
さざんか

町の花  
さくら



吉野ヶ里歴史公園

人口： 16, 141人  
面積： 43. 99km<sup>2</sup>

吉野ヶ里町は、日本茶樹栽培発祥の地と伝えられる霊仙寺跡や日本最大級の環濠集落跡吉野ヶ里遺跡のある歴史浪漫のある町です。また、サザンカ自生北限地(国天然記念物)であり、脊振山の緑豊かな自然と佐賀平野の雄大な田園地帯が見せる四季折々の景色は多くの観光客を魅了しています。

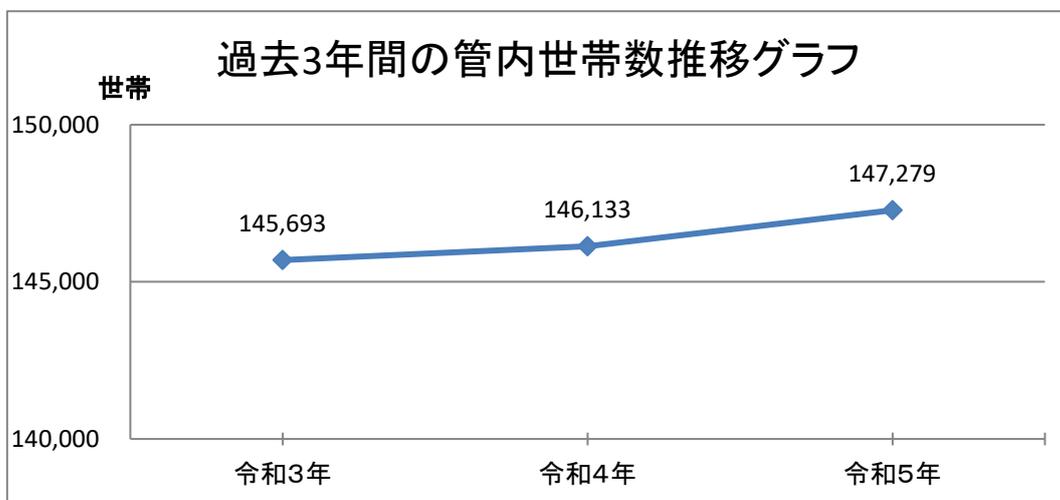
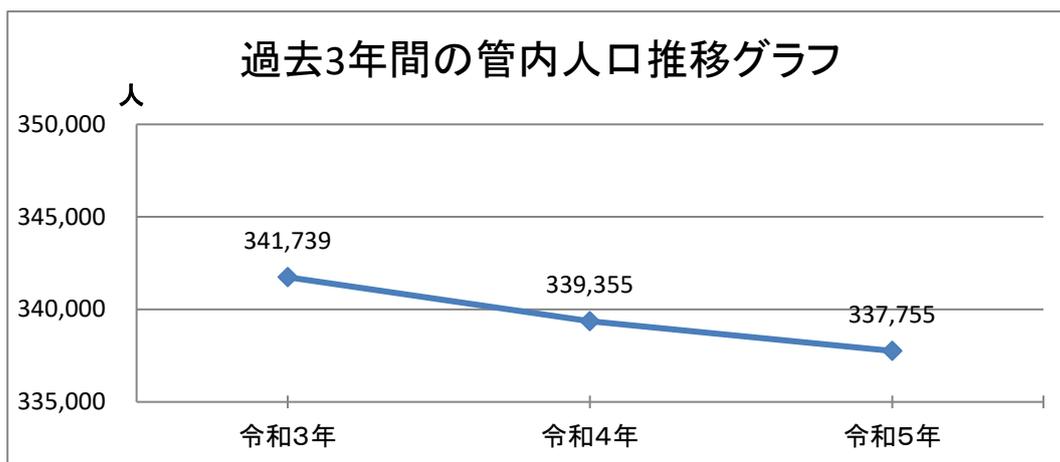


霊仙寺跡から望む茶畑の景色

## 佐賀広域消防局管内の人口等推移

令和5年4月1日現在

令和5年					
市	人口(人)	世帯	面積(km <sup>2</sup> )	人口比率	面積比率
佐賀市	228,553	103,284	431.82	67.67%	54.43%
多久市	18,076	7,892	96.56	5.35%	12.17%
小城市	44,193	17,203	95.81	13.08%	12.08%
神崎市	30,792	12,213	125.13	9.12%	15.77%
吉野ヶ里町	16,141	6,687	43.99	4.78%	5.55%
<b>合計</b>	<b>337,755</b>	<b>147,279</b>	<b>793.31</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>



消防庁舎の現況

		構造	敷地面積	延面積	建築年	庁舎写真	
消防局	庁舎	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階	11,817.12m <sup>2</sup>	6,961.58m <sup>2</sup>	R3.1		
				1F 2,167.15m <sup>2</sup> 2F 1,999.39m <sup>2</sup> 3F 1,617.54m <sup>2</sup> 4F 1,135.46m <sup>2</sup> PH 42.04m <sup>2</sup>			
	訓練塔A棟	鉄筋コンクリート造 地上5階		229.30m <sup>2</sup>	R2.6		
	訓練塔B棟	鉄筋コンクリート造 地上3階		106.33m <sup>2</sup>	R2.6		
	訓練塔C棟	鉄筋コンクリート造 地上3階		401.96m <sup>2</sup>	R2.6		
	車庫	鉄骨造 平屋建		254.36m <sup>2</sup>	R3.12		
署	その他	4棟	51.25m <sup>2</sup>	R3.1 R3.3 R4.3			
西分署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	1,315.78m <sup>2</sup>	540.65m <sup>2</sup>	S58.3		
	その他	1棟		9.28m <sup>2</sup>			
東分署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,827.57m <sup>2</sup>	503.81m <sup>2</sup>	H18.3		
	その他	1棟		10.35m <sup>2</sup>			

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真
多 久 消 防 署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,676.51㎡	1,006.34㎡ 1F 550.23㎡ 2F 456.11㎡	H6.3	
	車庫	鉄骨造 2階建		450.90㎡	H6.3	
	A訓練塔	鉄筋コンクリート造 5階建		174.00㎡	H6.3	
	B訓練塔	鉄筋コンクリート造 2階建		80.00㎡	H6.3	
	その他	2棟		73.40㎡	H6.3	
多 久 南 西 出 張 所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,452.06㎡	393.14㎡	R2.6	
	その他	1棟		4.41㎡	R2.9	

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真
南 部 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,624.89m <sup>2</sup>	1,678.17m <sup>2</sup> 1F 1,085.37m <sup>2</sup> 2F 592.80m <sup>2</sup>	H28.2	
	訓練塔	鉄骨造 5階建		178.93m <sup>2</sup>	S61.12	
	補助塔	鉄骨造 平屋建		19.11m <sup>2</sup>	S61.12	
	その他	1棟		8.82m <sup>2</sup>	H28.2	
久 保 田 出 張 所	庁舎	鉄骨造 2階建	762.80m <sup>2</sup>	349.16m <sup>2</sup> 1F 244.24m <sup>2</sup> 2F 104.92m <sup>2</sup>	H20.12	
	その他	1棟		3.24m <sup>2</sup>	H20.12	
北 部 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	5,129.84m <sup>2</sup>	1,786.26m <sup>2</sup> 1F 1,390.64m <sup>2</sup> 2F 395.62m <sup>2</sup>	H25.8	
	訓練塔	鉄骨造 2階建		36.00m <sup>2</sup>	H25.8	
	その他	1棟		8.24m <sup>2</sup>	H25.8	
富 士 出 張 所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,075.20m <sup>2</sup>	329.67m <sup>2</sup>	H17.8	
	その他	1棟		11.96m <sup>2</sup>	H17.8	

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真
小 城 消 防 署	庁舎	鉄筋コン クリート造 2階建	7,035.67㎡	1,558.49㎡ 1F 996.89㎡ 2F 561.60㎡	H26.7	  
	訓練塔1	鉄骨造 2階建		82.76㎡	H27.3	
	訓練塔2	鉄骨造 2階建		71.74㎡	H27.3	
	訓練塔3	鉄骨造 2階建		27.50㎡	H27.3	
	補助訓練塔	鉄骨造 2階建		16.00㎡	H22.3	
	車庫	鉄骨 スレート造 平屋建		253.20㎡	H5.2	
	車庫	軽量鉄骨造 平屋建		48.95㎡	H23.3	
	その他	2棟		26.24㎡	H6.2 H26.8	
北 分 署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,508.96㎡	569.15㎡ 1F 426.59㎡ 2F 142.56㎡	H16.3	

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真
神埼消防署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,370.30㎡	2,197.60㎡ 1F 1,441.57㎡ 2F 756.03㎡	H8.3	 
	A 訓練塔	鉄筋造 5階建		159.19㎡	H8.3	
	B 訓練塔	鉄筋造 2階建		81.43㎡	H8.3	
三脊出張所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,801.59㎡	385.86㎡	H30.3	
	その他	1棟		4.41㎡	H30.3	
吉野ヶ里出張所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,390.41㎡	359.65㎡	H27.1	

# 消防車両一覧表

令和5年4月1日現在

種 別 所 属 別		ポ	救	タ	化	は	救	水	高	指	災	機	査	指	資	林	連	連	人	燃	特	合	
		ン	助	ン	学	し	助	難	規	揮	害	動	察	令	材	野	絡	絡	員	料	殊	計	
		プ	ポン	ク	車	ご	工	救	格	隊	支	連	車	車	搬	火	車	(普)	(軽)	輸	補	車	
		車	プ	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	送	災	車	車	送	給	車	車	車
局	総務課																2	1	1				4
	警防課									1		1							1	1			4
	予防課												1						1		1		3
	小計									1		1	1					2	3	2	1		11
佐賀消防署	署	3		1		2	2		4	1			1		1				3	1		2	21
	西分署	1		1					1										1				4
	東分署	1		1					1										1				4
	小計	5		3		2	2		6	1			1		1				5	1		2	29
多久消防署	署	1		2		1			1				1	1			1		1				9
	南西出張所		1						1										1				3
	小計	1	1	2		1			2				1	1			1	1	1				12
南部消防署	署	1	1		1				1		1			1	1				1	1			9
	久保田出張所	1							1										1				3
	小計	2	1		1				2		1			1	1				2	1			12
北部消防署	署		1	1	1			1	2					1	1				1	1			10
	富士出張所	1							1											1			3
	小計	1	1	1	1			1	3					1	1				2	1			13
小城消防署	署	1		1			1		2		1			1	1				1	1			10
	北分署	1		1					1											1			4
	小計	2		2			1		3		1			1	1				2	1			14
神埼消防署	署	1	1		1				2					1	1	1	1			1		1	11
	三脊出張所	1							1											1			3
	吉野ヶ里出張所			1					1											1			3
	小計	2	1	1	1				4					1	1	1	1		2	1		1	17
合 計		13	4	9	3	3	3	1	20	2	2	1	2	5	6	1	4	17	8	1	3		108

※ 特殊車両：「水陸両用バギー」及び「重機」を示す。



重機



重機搬送車



消防ポンプ自動車CD-I型

## 佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

昭和23年	5月	佐賀市消防本部を設置
昭和38年	11月	多久市消防本部を設置
昭和44年	11月	神埼地区消防事務組合消防本部を設置
昭和46年	11月	小城地区消防事務組合消防本部を設置
昭和49年	3月	佐賀郡消防事務組合消防本部を設置
平成12年	4月	平成12年4月1日 佐賀地区広域市町村圏組合佐賀広域消防局発足 職員定数を343人とする 消防局に総務課、予防課、消防課、通信指令課を置く 5署1分署5出張所(旧消防本部の署所を引継ぐ)を置く 通信指令装置の運用開始
平成15年	3月	南部消防署庁舎大規模改修 平成15年3月31日 佐賀地区広域市町村圏組合解散
平成15年	4月	平成15年4月1日 佐賀中部広域連合佐賀広域消防局発足
平成16年	3月	小城消防署北分署庁舎新設
平成17年	8月	北部消防署富士出張所庁舎新築
平成18年	3月	佐賀消防署東出張所と南部消防署諸富出張所を統合し、佐賀消防署東分署を新設
	4月	総務省消防庁から高度救助隊設置の指定を受ける
	5月	臨時議会において佐賀中部広域連合職員定数条例を改正、団塊世代の大量退職に伴い、前倒し採用による対応を図る(定数外処理)
平成19年	4月	女性消防吏員初採用
平成20年	4月	再任用制度導入(5人再任用)
	12月	南部消防署久保田出張所新築
平成21年	1月	佐賀消防署に高度救助隊を置き、高度救助資機材を配置
	4月	北部消防署に水難救助隊を置き、水難救助車を配置 小城消防署に特別救助隊を置き、救助資機材を配置
平成22年	4月	総務省消防庁の国際消防救助隊員に登録される(6名) 位置情報通知システム統合型の運用開始
平成23年	4月	消防救急通信指令システムを部分更新し、運用開始
平成24年	1月	佐賀中部広域連合内常備消防広域化基本合意書調印式を実施
平成24年	1月	佐賀県知事から佐賀中部広域連合佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部の合併が許可される

平成25年	3月	平成25年3月31日 神埼地区消防事務組合解散
	4月	平成25年4月1日 神埼地区消防事務組合消防本部と合併 6署3分署4出張所となる 職員定数を425名とする
平成25年	8月	北部消防署庁舎新築
平成26年	4月	消防救急デジタル無線の運用開始
	7月	小城消防署庁舎新築
平成27年	1月	神埼消防署吉野ヶ里出張所庁舎新設
	2月	神埼消防署吉野ヶ里出張所運用開始 6署3分署5出張所となる
平成28年	2月	南部消防署庁舎新築
平成30年	3月	神埼消防署三脊出張所新築
令和 2年	6月	多久消防署多久南西出張所新設
	10月	多久消防署多久南西出張所運用開始 6署3分署6出張所となる
令和 3年	1月	佐賀広域消防局・佐賀消防署新築
	2月	佐賀広域消防局・佐賀消防署新庁舎運用開始
	4月	組織機構の改編に伴い、消防局「消防課」を「警防課」に、消防局「通信指令課」を「情報指令課」に、消防署「警防1課及び警防2課」を「消防1課及び消防2課」に改める。 高機能消防指令センター運用開始
	5月	佐賀消防署に防災学習広場を設置し、運用開始
	10月	救急出動体制強化等を図るため、佐賀消防署中央出張所の機能を佐賀消防署に移転統合し、中央出張所を廃止 6署3分署5出張所となる

## 各種協定の状況

### [相互応援関係]

令和5年4月1日現在

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
糸島市との隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	糸島市	平成 25年 4月 1日
久留米広域市町村圏事務組合との隣接常備 消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	久留米広域市町村圏事務組合	平成 25年 4月 1日
佐賀県常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	佐賀県下の消防本部(5本部)	平成 26年 7月 2日
福岡佐賀県境隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	筑紫野大宰府消防組合	平成 25年 9月 1日
	鳥栖・三養基地区消防事務組合	
	春日・大野城・那珂川消防組合	

### [高速道路関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
長崎自動車道にかかる消防業務に関する 覚書	鳥栖・三養基地区消防事務組合	平成 21年 4月 1日
高速自動車道における消防の相互応援に 関する協定	佐世保市	平成 12年 4月 1日
	県央地域広域市町村圏組合	
	杵藤地区広域市町村圏組合	

### [空港関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
佐賀空港周辺航空機災害消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合	平成 20年 1月 1日
	柳川市	
佐賀空港及びその周辺における消火救難 活動に関する協定	佐賀空港事務所	平成 20年 1月 1日

### [無線関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
防災行政無線遠隔制御装置の運用に関する 協定等	佐賀市(諸富町・大和町・富士町・ 川副町・東与賀町・久保田町) 小城市	平成 12年 4月 1日
	多久市	平成 22年 2月 1日
	神埼市・吉野ヶ里町	平成 25年 4月 1日
佐賀県防災、行政衛星無線設備の管理及び 運用に関する委託協定	佐賀県	平成 12年 4月 1日

### [その他]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
他の都道府県若しくは他の都道府県に属する 消防防災ヘリコプターによる支援を受けた場 同ヘリコプターとの合同訓練を行った場合の 負担に関する協定	佐賀県	平成 25年 2月 20日
災害弱者緊急通報システムに関する覚書	佐賀市	平成 20年 4月 1日
	多久市	平成 12年 4月 1日
	神埼市	平成 31年 4月 1日
緊急消防援助隊佐賀県大隊の応援出動に おける食料等の供給に関する協定	佐賀県生活協同組合連合会	平成 28年 10月 28日
災害時における消防用水等の供給支援に 関する協定	佐賀県生コンクリート工業組合	平成 29年 12月 26日
緊急時の道路維持管理資材の使用に係る 協定	佐賀市、多久市、小城市、神埼市	令和 2年 3月 10日
	吉野ヶ里町	令和 2年 3月 16日
佐賀県消防防災ヘリコプター支援に係る協定	佐賀県	令和 3年 3月 22日

※平成12年4月1日佐賀広域消防局再編に伴い、全面的に再協定を行う。

また、合併等で名称が変わったものについては、事務承継の観点から変更後の名称とする。



# ○ 総務



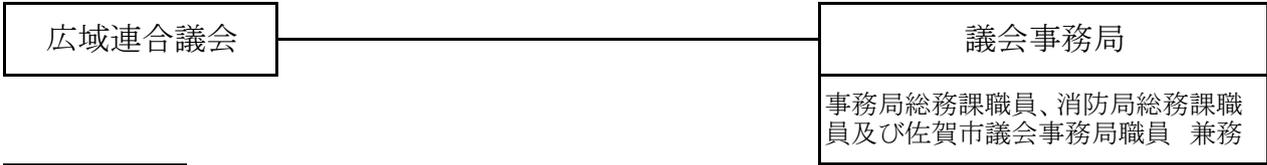


I 組織

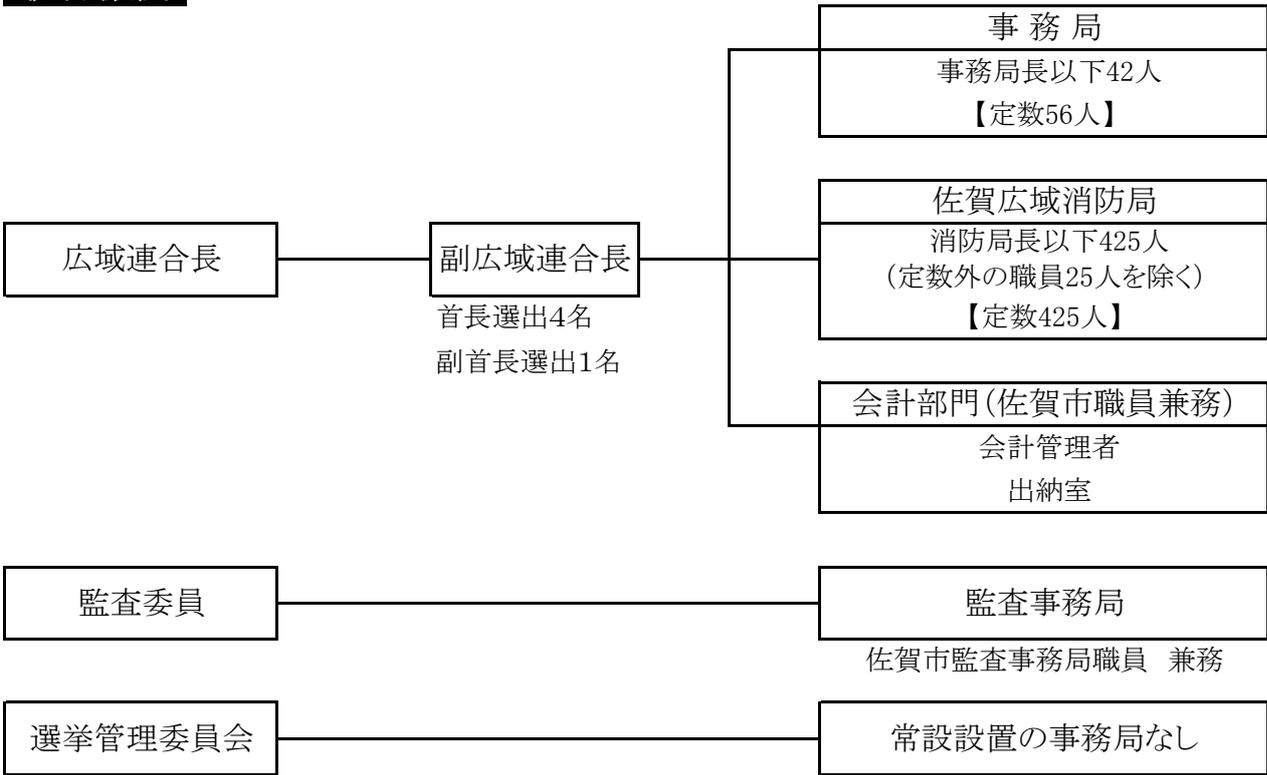
佐賀中部広域連合機構

令和5年7月1日現在

議 会



執行機関

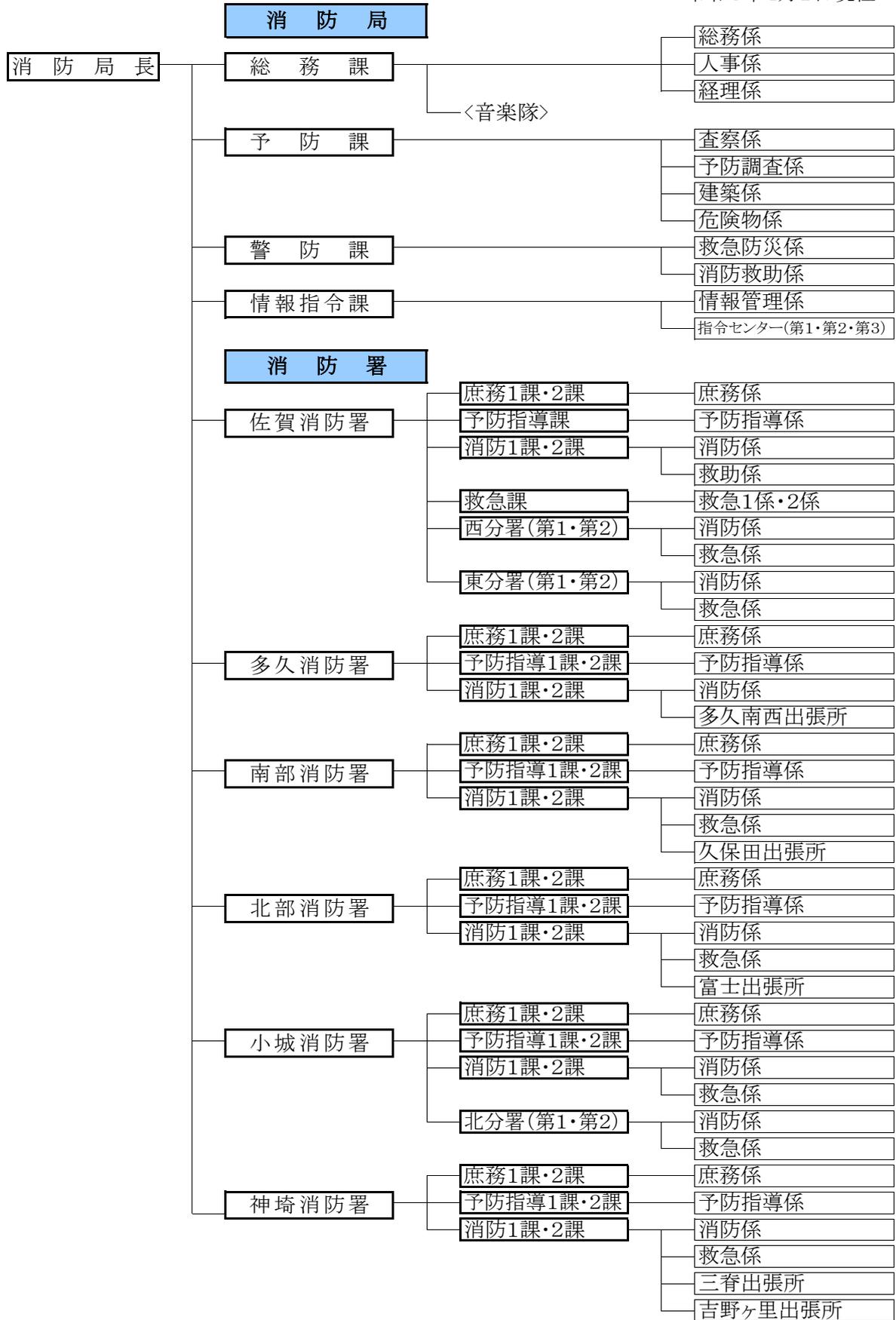


役 職

広域連合長	坂井英隆	佐賀市長	議長	山下明子	佐賀市
	横尾俊彦	多久市長			
副広域連合長	江里口秀次	小城市長	副議長	古賀公彦	多久市
	内川修治	神埼市長			
	伊東健吾	吉野ヶ里町長	監査委員	力久剛	識見
池田一善	佐賀市副市長	野副芳昭			

# 佐賀広域消防局組織図

令和5年4月1日現在



Ⅱ 財政

消防費当初予算

(単位:千円)

歳入	令和5年度		令和4年度		前年度比
	予算	割合	予算	割合	
分担金及び負担金	4,987,942	91.69%	4,953,706	95.27%	0.69 %
使用料及び手数料	4,194	0.08%	4,194	0.08%	0.00 %
財産収入	550	0.01%	450	0.01%	22.22 %
繰入金	95,000	1.75%	110,000	2.12%	△ 13.63 %
繰越金	10	0.00%	10	0.00%	0.00 %
諸収入	47,043	0.86%	51,011	0.98%	△ 7.77 %
広域連合債	305,400	5.61%	80,400	1.55%	279.85 %
合計	5,440,139	100.00%	5,199,771	100.00%	4.62 %

(△は減)

(単位:千円)

歳出	令和5年度		令和4年度		前年度比
	予算	割合	予算	割合	
常備消防費	4,303,555	79.11%	4,209,474	80.95%	2.23 %
消防施設費	461,766	8.49%	280,786	5.40%	64.45 %
公債費	654,818	12.04%	689,511	13.26%	△ 5.03 %
予備費	20,000	0.37%	20,000	0.38%	0.00 %
合計	5,440,139	100.00%	5,199,771	100.00%	4.62 %

令和5年度消防費予算に対する住民の負担状況

令和5年4月1日現在

予算(円)	人口(人)	世帯(世帯)	1人当り額(円)	1世帯当り額(円)
5,440,139,000	337,755	147,279	16,107	36,938

Ⅲ 人事

職員配置状況

令和5年4月1日現在

階級	配置	正	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	事務吏員	再任用	計
		監										
消防局	消防局長	1										1
	※1 副局長		2									2
	総務課			1								1
	総務係				1	1	1			1		4
	経理係				2	1				1		4
	人事係				2	1	3					6
	総務課付(定数内)				1	1	1					3
	※2 総務課付(定数外)					1	1		7			9
	予防課			2								2
	予防調査係				1	1						2
	査察係				2							2
	建築係				1	1	1					3
	危険物係				2		1					3
	警防課			1								1
	消防救助係				1	2						3
	救急防災係				1	2					1	4
	※3 警防課付(定数外)				1	3	1					5
	情報指令課		1									1
	情報管理係			1							1	2
	指令センター(第1)			1	2	1	1				2	7
指令センター(第2)			1	1	2	1				2	7	
指令センター(第3)			1	2	2					2	7	
小計		1	3	8	20	19	11	0	7	2	8	79
佐賀消防署	署長		1									1
	副署長(1・2)			2								2
	庶務課(1・2)			2						1		3
	1課庶務係				1	1			2			4
	2課庶務係				1	1		1	1			4
	予防指導課			1								1
	予防指導係				1	2	1	2			2	8
	消防課(1・2)			2								2
	1課消防係				2	1	2	3	2			10
	2課消防係				2	1	3	2	2			10
	1課救助係				1	2	5	1				9
	2課救助係				1	2	5	1				9
	救急課			1								1
	救急1係				1	2	2	2	3			10
	救急2係				1	2	2	2	3			10
	西分署(1・2)				2							2
	消防係(第1)					1	2	1	1			5
	消防係(第2)					1	1	2	1			5
	救急係(第1)					1	2		1			4
	救急係(第2)					1	1		2			4
東分署(1・2)				2							2	
消防係(第1)					1	1	1	2			5	
消防係(第2)					1	1	1	2			5	
救急係(第1)					1	1		2			4	
救急係(第2)					1	1	1	1			4	
小計		0	1	8	15	22	30	20	25	1	2	124

※1 副局長は総務課長、警防課長が兼務。

※2 総務課付(定数外) 内訳：消防庁(士長1人)・佐賀県消防学校(司令補1人)・初任科(士7人)

※3 警防課付(定数外) 内訳：佐賀県防災航空隊(司令1人、司令補1人、士長1人)・好生館(司令補2人)

階 級 配 置		正	監	司	司	司	士	副	士	事	再	計
		監		令	令	令	長	士	長	務	任	
		監	監	長	令	補	長	長	士	吏	用	
多 久 消 防 署	署 長		1									1
	庶務課 (副署長1・2)			2								2
	1 課 庶 務 係					1			1		1	3
	2 課 庶 務 係					1			1		1	3
	予 防 指 導 課 (1・2)				2							2
	1 課 予 防 指 導 係					1	1	1				3
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	1				3
	消 防 課 (1・2)				2							2
	1 課 消 防 係					1	2		1			4
	2 課 消 防 係					1	1	1	1			4
	1課多久南西出張所					1	2	1	1			5
	2課多久南西出張所					1	1	2	1			5
	小 計	0	1	2	4	8	8	6	6	0	2	37
南 部 消 防 署	署 長		1									1
	庶務課 (副署長1・2)			2								2
	1 課 庶 務 係					1	1	2				4
	2 課 庶 務 係					1	1	1	1			4
	予 防 指 導 課 (1・2)				2							2
	1 課 予 防 指 導 係					1	1		1		1	4
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	1			1	4
	消 防 課 (1・2)				2							2
	1 課 消 防 係					1	1		1			3
	2 課 消 防 係					1	1		1			3
	1 課 救 急 係					1	1	1	1			4
	2 課 救 急 係					1	1	1	1			4
	1課久保田出張所					1	1	1	2			5
2課久保田出張所					1	2	2				5	
小 計	0	1	2	4	10	11	9	8	0	2	47	
北 部 消 防 署	署 長			1								1
	庶務課 (副署長1・2)			2								2
	1 課 庶 務 係					1	1	2				4
	2 課 庶 務 係					1	1	2				4
	予 防 指 導 課 (1・2)				2							2
	1 課 予 防 指 導 係					1	1	1			1	4
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	1			1	4
	消 防 課 (1・2)				2							2
	1 課 消 防 係					1		1	1			3
	2 課 消 防 係					1		1	1			3
	1 課 救 急 係					1	1	1	1			4
	2 課 救 急 係					1	2		1			4
	1課富士出張所					1	1	2			1	5
2課富士出張所					1	2		1		1	5	
小 計	0	0	3	4	10	10	11	5	0	4	47	

階 級 配 置	正	監	司	司	司	士	副	士	事	再	計	
	監		令	令	令	長	士	士	務	任		
			長	令	補	長	長	士	吏	用		
小 城 消 防 署	署 長		1								1	
	庶務課（副署長1・2）			2							2	
	1 課 庶 務 係				1	1	1			1	4	
	2 課 庶 務 係				1	1		1		1	4	
	予 防 指 導 課（1・2）				2						2	
	1 課 予 防 指 導 係				1	1	2				4	
	2 課 予 防 指 導 係				1	1	2				4	
	消 防 課（1・2）				2						2	
	1 課 消 防 係				1	2	1				4	
	2 課 消 防 係				1	2	1				4	
	1 課 救 急 係				1	1	2				4	
	2 課 救 急 係				1	1	2				4	
	北 分 署（1・2）				2						2	
	消 防 係（第1）				1	1		2		1	5	
	消 防 係（第2）				1	1	1	1		1	5	
	救 急 係（第1）				1	1	1	1			4	
	救 急 係（第2）				1	2	1				4	
小 計	0	1	2	6	12	15	14	5	0	4	59	
神 埼 消 防 署	署 長			1							1	
	庶務課（副署長1・2）			2							2	
	1 課 庶 務 係				1	1		2			4	
	2 課 庶 務 係				1	1		1		1	4	
	予 防 指 導 課（1・2）				2						2	
	1 課 予 防 指 導 係				1	1		1		1	4	
	2 課 予 防 指 導 係				1	2	1				4	
	消 防 課（1・2）				2						2	
	1 課 消 防 係				1	1	1				3	
	2 課 消 防 係				1	1	1				3	
	1 課 救 急 係				1	1	1	1			4	
	2 課 救 急 係				1	1	2				4	
	1 課 三 脊 出 張 所				1		1	1	1		1	5
	2 課 三 脊 出 張 所					1	1	1	1		1	5
1 課 吉 野 ヶ 里 出 張 所					1	2		2			5	
2 課 吉 野 ヶ 里 出 張 所					1	1	2	1			5	
小 計	0	0	5	3	11	14	10	10	0	4	57	
合 計	1	7	30	56	92	99	70	66	3	26	450	

## 年齢別職員数

令和5年4月1日現在

階級 年齢	正	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	事務吏員	計	人		
	監										10	20	
30歳未満	18									0			
	19							2		2			
	20									0			
	21								6	6			
	22								9	9			
	23								7	7			
	24								8	8			
	25							1	8	9			
	26							1	11	12			
	27							9	5	14			
	28							8	2	10			
29							6	2	8				
40歳未満	30					2	8	3		13			
	31					8	11			19			
	32					3	6	1		10			
	33					12	9	2		23			
	34					15	3			18			
	35					16	4			20			
	36					4	9	2		15			
	37					6	5			11			
	38					7	8	2		17			
	39					6	5			11			
50歳未満	40				6	5				11			
	41				5					5			
	42				4	1				5			
	43			1	7					8			
	44			2	8	1				11			
	45			1	3					4			
	46			1	5	1				7			
	47			5	3	3				11			
	48			10	11	1				22			
49			8	2				1	11				
60歳未満	50			9	7					16			
	51		1	5		1				7			
	52		4	6	4	1				15			
	53		3	2		1				6			
	54		7	3	3				1	14			
	55		3						1	4			
	56		1							1			
	57	1	1	4	3		1			10			
	58		3	4		1				8			
59		3	3						6				
60歳以上	60					2				2			
	61					7				7			
	62					4				4			
	63					9				9			
	64					4				4			
計	1	7	30	56	92	125	70	66	3	450			
平均年齢	57.0	58.3	55.1	49.7	43.9	41.8	30.7	24.8	52.7	40.3			

※定数外職員25人【消防庁派遣（士長1人）・佐賀県派遣（司令1人、司令補 4人、士長1人）・初任科（士7人）】、再任用短時間（11名）

## 勤続年数別職員数

令和5年4月1日現在

階級 年数	階級									計	人		
	正 監	監	司 令長	司 令	司 令補	士 長	副 士長	士	事 務 吏 員		10	20	30
1年未満	1							7		8			
1年								10		10			
2年								11		11			
3年							1	6	1	8			
4年							2	8		10			
5年							3	11		14			
6年						1	4	7		12			
7年							7	2		9			
8年						1	5	2		8			
9年						6	10	1		17			
10年						6	11	1		18			
11年						9	14			23			
12年					1	9	6			16			
13年					2	11	2			15			
14年					5	16	2			23			
15年					7	18				25			
16年					9	10	3			22			
17年					9	2				11			
18年				1	1					2			
19年					2					2			
20年				1	2					3			
21年					3					3			
22年					6	1				7			
23年				2	9					11			
24年				2	3	1				6			
25年				5	2	2			1	10			
26年				1						1			
27年			1	1	3					5			
28年				4	5	1				10			
29年				5	6	4				15			
30年			1	18	8				1	28			
31年			1	9	1					11			
32年			6	4	7	1				18			
33年			3	1						4			
34年			3			2				5			
35年			2			1				3			
36年		1	7		1	1				10			
37年						1				1			
38年			1							1			
39年		2	3	2		3				10			
40年		4	2			6				12			
41年										0			
42年						6				6			
43年						2				2			
44年										0			
45年						4				4			
計	1	7	30	56	92	125	70	66	3	450			
平均勤続年数	0.0	39.1	34.6	29.0	22.3	19.2	9.5	3.5	19.3	19.6			

※定数外職員28人【消防庁派遣（士長1人）・佐賀県派遣（司令1人、司令補4人、士長1人）・初任科（士10人）】、再任用短時間（11名）

## 職員の特殊技能・資格取得状況

令和5年4月1日現在

階 級 資 格 名		司令以上	司令補	士 長	副士長	士	計
		車 両	大型自動車（Ⅰ種）	79	78	84	19
大型自動車（Ⅱ種）	2		1	2	0	0	5
中 型 自 動 車	2		24	80	60	15	181
無 線	陸上特殊無線技士（第1級）	18	5	10	0	0	33
	陸上特殊無線技士（第2級）	85	55	33	4	3	180
	陸上特殊無線技士（第3級）	2	37	88	67	64	258
救 急	救 急 救 命 士	33	36	38	14	8	129
	気管内挿管資格取得者	5	13	13	4	0	35
	薬剤投与資格取得者	31	35	35	14	4	119
	救 急 標 準 課 程	34	65	84	61	23	267
	救 急 Ⅱ 課 程	52	24	24	0	0	100
	救 急 Ⅰ 課 程	60	19	26	0	0	105
救 助	玉 掛 技 能 士	69	77	93	64	48	351
	ク レ ー ン 技 能 士	79	83	117	70	49	398
	ア ー ク 溶 接 士	29	11	8	0	0	48
	ガ ス 溶 接 士	47	51	58	7	1	164
	小 型 船 舶 操 縦 士	34	33	34	8	0	109
	潜 水 士	86	92	121	70	52	421
	水 上 安 全 法 指 導 員	1	1	0	0	0	2
建 築 ・ 予 防	酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者	87	92	113	70	49	411
	2 級 建 築 士	1	0	0	0	0	1
	予 防 技 術 者 検 定	44	43	68	28	9	192
	電 気 工 事 士	5	3	4	1	0	13
	消 防 設 備 士 （ 甲 ）	3	4	1	0	0	8
	消 防 設 備 士 （ 乙 ）	7	12	5	1	0	25
	危 険 物 取 扱 者 （ 甲 ）	0	3	1	0	0	4
	危 険 物 取 扱 者 （ 乙 ）	16	25	22	8	6	77
	危 険 物 取 扱 者 （ 丙 ）	5	13	3	0	0	21
毒 物 劇 物 取 扱 者	3	1	0	0	0	4	
そ の 他	衛 生 管 理 者	13	0	3	0	0	16
	特定化学物質作業主任者	23	24	6	0	0	53

## (1) 概 要

音楽を通じて市民の火災予防思想の普及を図り、併せて消防職員の士気の高揚と情操の育成に資することを目的として、昭和44年5月1日に同好者23名で音楽部を結成した。逐年の活動の結果、各種行事での演奏の機会も多くなり、消防広報を更に効果的なものにするため、昭和48年8月1日に音楽隊の設置規程を制定し、名称も佐賀市消防音楽隊として正式に発足した。昭和57年3月には同規程の一部を改正して、消防団員も音楽隊員に委嘱することができるようにし職団員をもって消防広報に活躍している。平成12年4月1日佐賀広域消防局発足と同時に名称変更が行われ、『佐賀広域消防局消防音楽隊』となった。

平成26年4月からは、消防職団員以外の者も広く音楽隊員に委嘱できるようにした。現在は、週一回の定期的な合同練習を行い、各種演奏出場に備えている。

## (2) 編 成

令和5年4月1日現在

楽 器 名 等	職 員			講 師	一 般	人 員 計
	隊長	副隊長	隊 員		隊 員	
指 揮				1		1
フルート (ピッコロ)					4 (2)	4 (2)
クラリネット (バスクラリネット)			2		3 (1)	5 (1)
アルトサクソフォン テナーサクソフォン バリトンサクソフォン		1	1		4 (3)	6 (3)
トランペット			2		5 (1)	7 (1)
ホ ル ン					3	3
トロンボーン			2		3 (2)	5 (2)
ユーフォonium			1 (1)		2 (2)	3 (3)
チューバ	1				2	3
ベ ー ス コントラバス			1 (1)			1 (1)
パーカッション			2		3	5
計	1	1	11 (2)	1	29 (11)	43 (13)

( ) 内はうち女性隊員数

## (3) 令和4年の主な演奏出場

演奏月	行 事 名
3月	佐賀県消防大会
9月	救急フェスタ
9月	全日本軟式野球大会開会式
9月	リレー・フォー・ライフ・ジャパン
10月	さが防火フェスタ
10月	三瀬ふれあい祭り
11月	ライトファンタジーパレード
11月	防火ポスターコンクール表彰式

V 消防団

消防団の概要

令和5年4月1日現在

市 町	団本部所在地	消防団長	団	分団	部	定員	実員
佐賀市	〒840-8501 佐賀市栄町1番1号 佐賀市役所 危機管理防災課 TEL:0952-40-7015 FAX:0952-24-3187	吉 村 勝 則	1	47	211	3,500	3,229 (82)
多久市	〒846-0002 多久市北多久町大字小侍22-1 佐賀広域消防局 多久消防署内 TEL:0952-75-2181 FAX:0952-75-2110	松 岡 伸 一	1	5	18	350	357 (18)
小城市	〒845-8511 小城市三日月町長神田2312-2 小城市役所 防災対策課 TEL:0952-37-6119 FAX:0952-37-6163	下 村 一 寿	1	12	44	900	791 (15)
神崎市	〒842-8601 神崎市神埼町鶴3542番地1 神崎市役所 総務企画防災危機管理課 TEL:0952-37-0104 FAX:0952-52-1120	江 頭 文 則	1	9	52	1,020	942 (22)
吉野ヶ里町	〒842-8501 吉野ヶ里町吉田321番地2 吉野ヶ里町役場 総務課 TEL:0952-37-0330 FAX:0952-53-6571	菰 方 重 広	1	9	23	499	461 (23)
合 計			5	82	348	6,269	5,780 (160)

実員のうち（ ）内は女性団員数

消防団現勢

令和5年4月1日現在

区 市 町	人 員								消 防 機 械			
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計	ポ ン プ 車	ポ ン プ 小 型 動 力 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	合 計
佐賀市	1	15	55	54	218 (7)	405 (14)	2,399 (61)	3,147 (82)	4	201		205
多久市	1	2	5	10	22 (1)	60 (1)	239 (16)	339 (18)	5	12		17
小城市	1	2	13	16	43 (1)	127 (2)	574 (12)	776 (15)	0	47		47
神崎市	1	3	9	34	52 (1)	162 (4)	681 (17)	942 (22)	1	52		53
吉野ヶ里町	1	3	8	10	22 (1)	72 (4)	322 (18)	438 (23)	7	15		22
合計	5	25	90	124	357 (11)	826 (25)	4,215 (124)	5,642 (160)	17	327		344

（ ）内は女性団員数

## 年齢別消防団員数

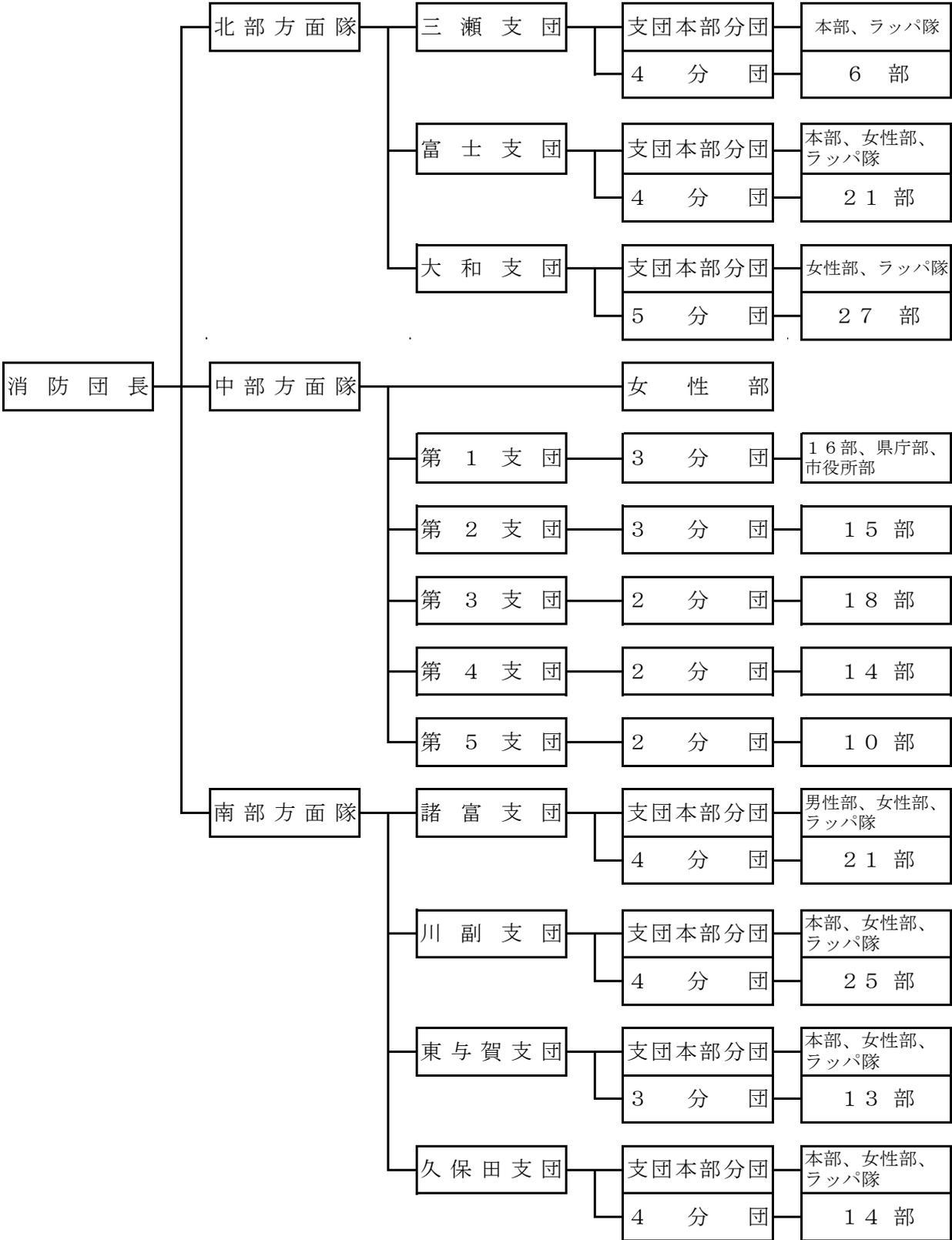
令和5年4月1日現在

市町		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	計	人
年齢								
3 0 歳 未 満	18	3		2	3		8	
	19	7		5	2		14	
	20	7		2	3	1	13	
	21	12	2	2	1		17	
	22	16	4	8	3		31	
	23	29	6	15	6	3	59	
	24	25		7	10	9	51	
	25	28	6	15	8		57	
	26	29	6	6	8	4	53	
	27	62	9	14	24	7	116	
	28	47	10	24	11	8	100	
	29	53	10	19	13	6	101	
4 0 歳 未 満	30	77	17	18	25	5	142	
	31	68	8	21	19	8	124	
	32	92	20	24	24	10	170	
	33	93	12	22	26	13	166	
	34	95	10	21	38	22	186	
	35	102	19	33	35	17	206	
	36	103	13	31	35	12	194	
	37	127	19	43	32	16	237	
	38	132	14	43	49	21	259	
	39	114	7	29	43	19	212	
5 0 歳 未 満	40	103	20	29	39	12	203	
	41	136	16	34	48	26	260	
	42	136	23	29	50	13	251	
	43	99	14	38	48	20	219	
	44	112	9	36	40	14	211	
	45	107	6	41	28	12	194	
	46	127	14	27	37	16	221	
	47	113	9	29	42	9	202	
	48	114	3	16	33	12	178	
	49	114	6	23	25	10	178	
6 0 歳 未 満	50	102	1	25	30	11	169	
	51	79	7	7	15	16	124	
	52	70	2	13	13	8	106	
	53	56	3	6	15	18	98	
	54	50	3	4	4	12	73	
	55	53		8	12	9	82	
	56	46	2	4	8	5	65	
	57	54		3	6	6	69	
	58	34	3	2	3	4	46	
	59	40	1	1	4	2	48	
6 0 歳 以 上	60	39	2	3	3	4	51	
	61	31	2		2	1	36	
	62	22	2	2	7	6	39	
	63	28	5	2	5	6	46	
	64	38	2	3	1	6	50	
	65以上	5	10	2	6	22	45	
<b>計</b>		<b>3,229</b>	<b>357</b>	<b>791</b>	<b>942</b>	<b>461</b>	<b>5780</b>	

# 消防団組織図

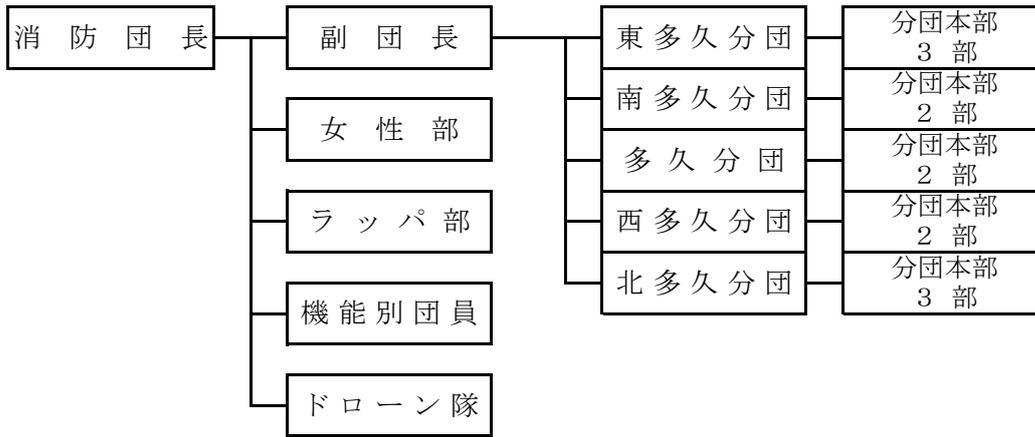
## 佐賀市消防団組織図

令和5年4月1日現在



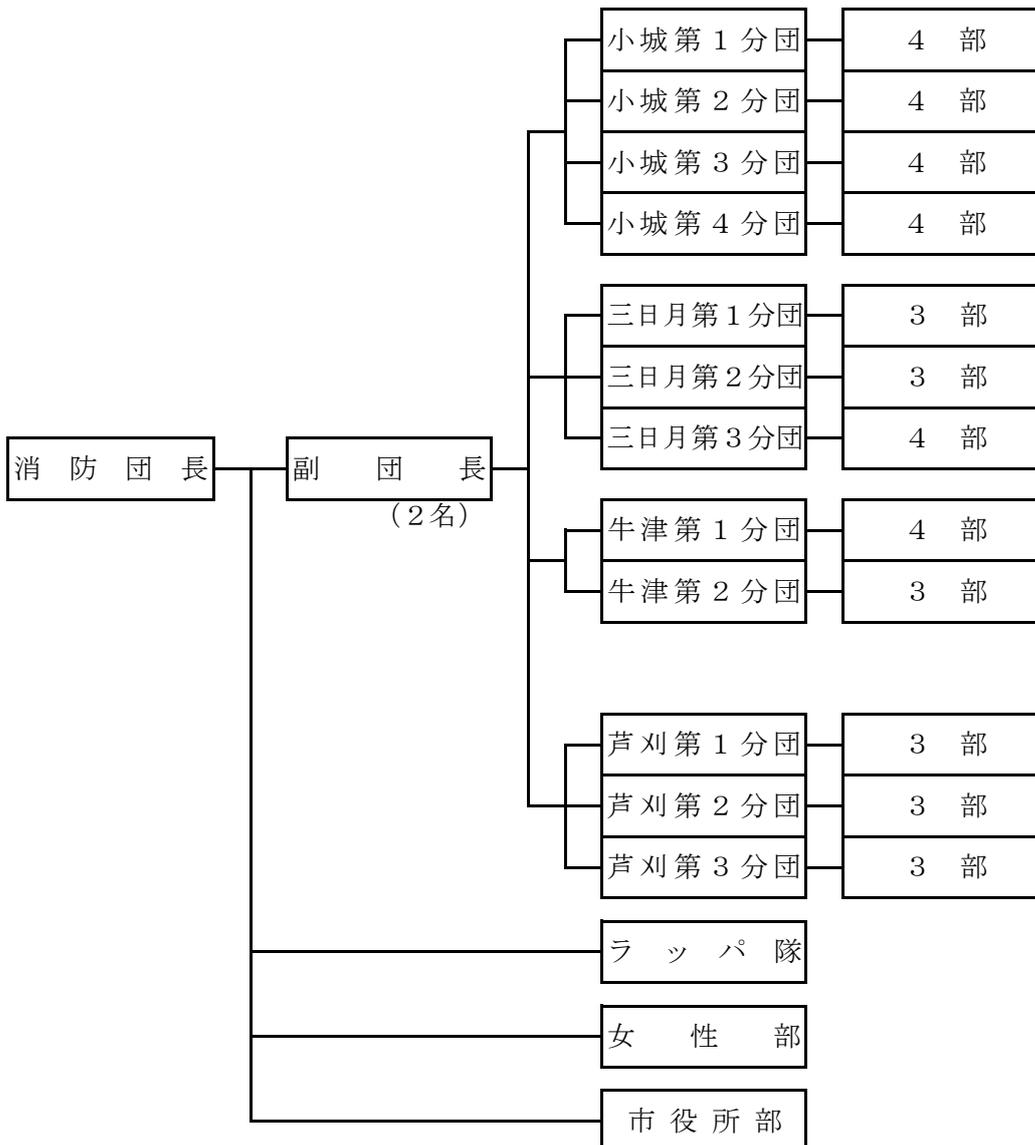
## 多久市消防団組織図

令和5年4月1日現在



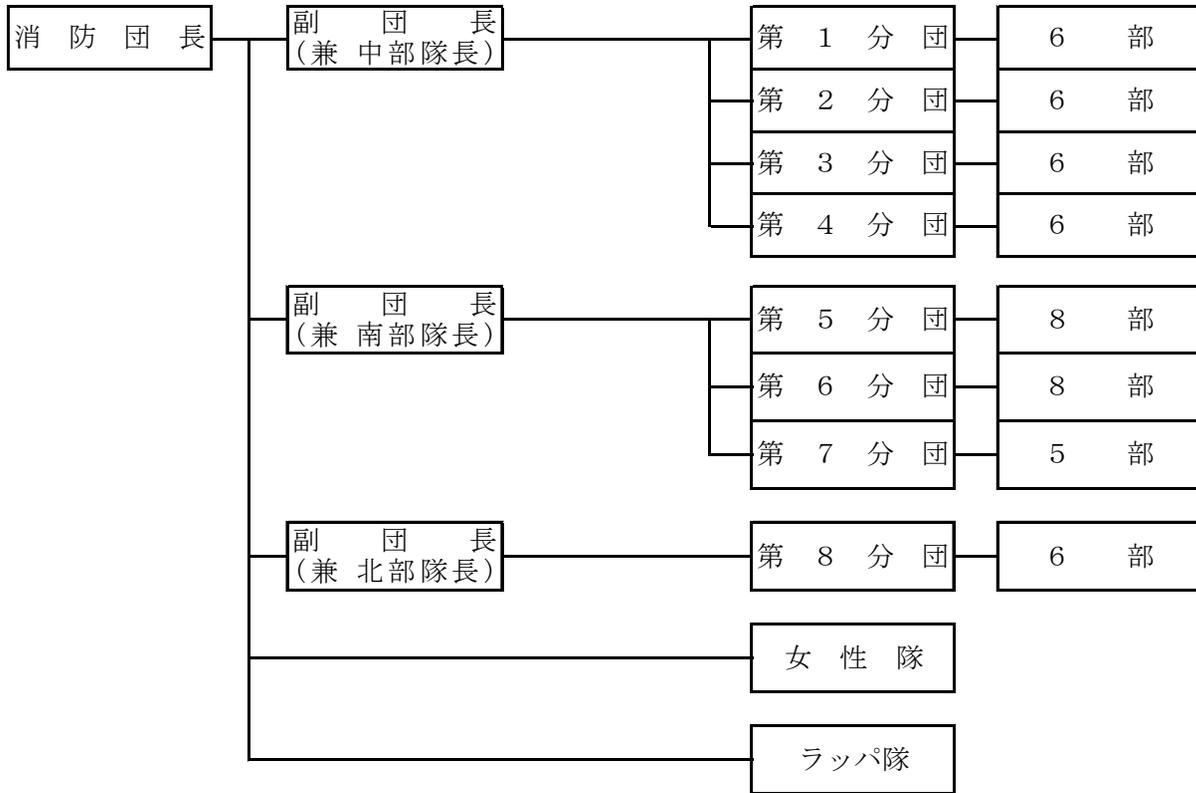
## 小城市消防団組織図

令和5年4月1日現在



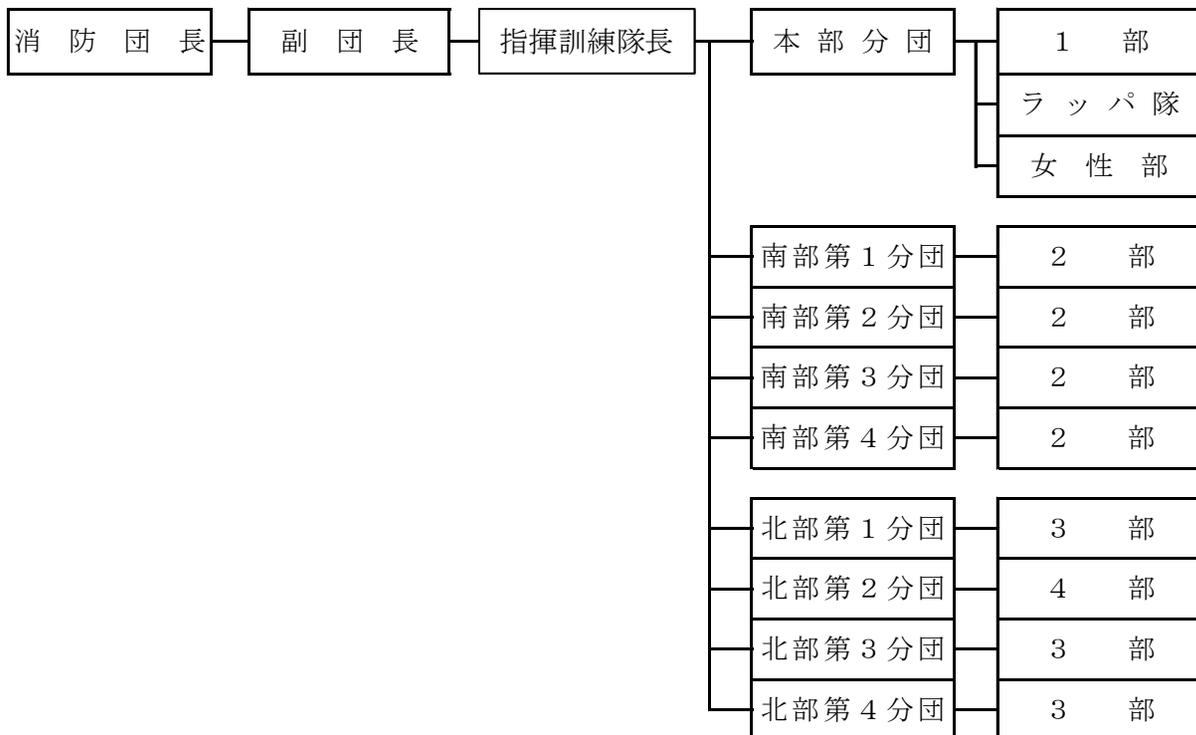
## 神崎市消防団組織図

令和5年4月1日現在



## 吉野ヶ里町消防団組織図

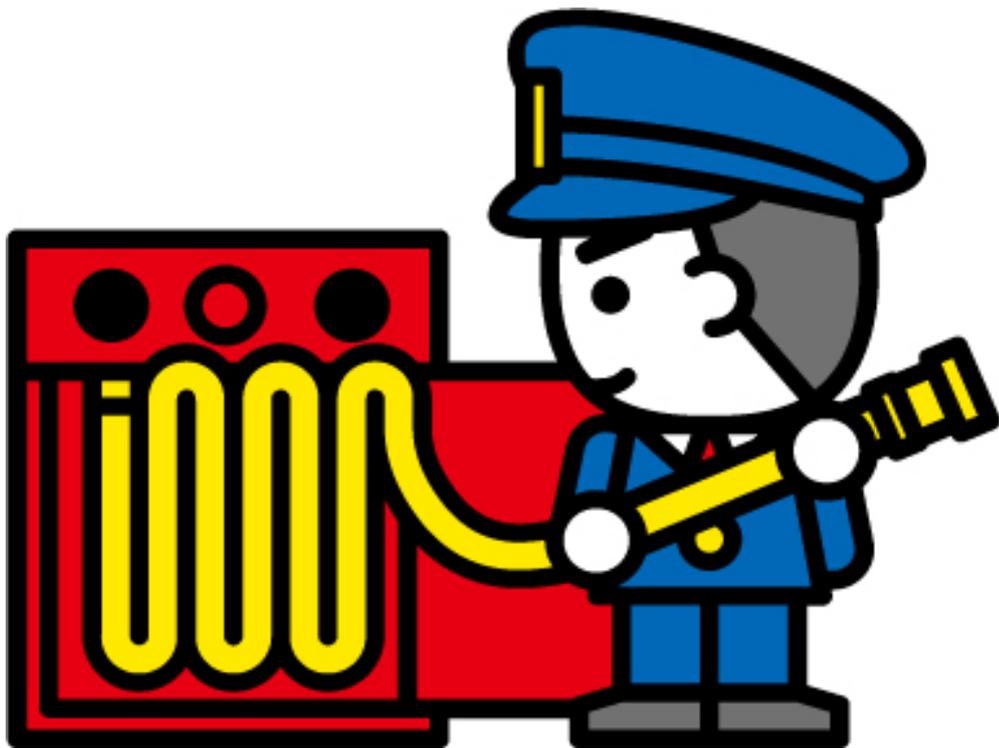
令和5年4月1日現在





# ○ 予 防

---





I 防火対象物

建築物申請処理状況

令和4年度中

申請		市 町					計
		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	
処理状況	同意 (指導無)	252	23	76	39	27	417
	同意 (指導有)	71	2	7	9		89
	許可申請書	35		1		3	39
計		358	25	84	48	30	545
内訳	新築	266	13	68	36	22	405
	増築	86	10	15	11	8	130
	改築	3	2	1	1		7
	増改築						
	模様替						
	用途変更	3					3
	大修繕						
	その他工作物						

## 用途別防火対象物使用開始届出状況

令和4年度中

市 町		佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	計
用 途							
1	イ	1					1
	ロ			1			1
2	イ						
	ロ						
	ハ						
	ニ						
3	イ						
	ロ	55	2	3	2	2	64
4		18		4	3		25
5	イ	5					5
	ロ	10			4	3	17
6	イ	3					3
	ロ	3			2	1	6
	ハ	26	3	3	3	1	36
ニ							
7		2					2
8							
9	イ	1					1
	ロ						
10							
11		3					3
12	イ	4	1	5	3		13
	ロ						
13	イ	1		1			2
	ロ						
14		14	5	13	6	3	41
15		32	1	5	2	3	43
16	イ	61		2	3		66
	ロ	9		1			10
16の2							
17							
18							
19							
20							
計		248	12	38	28	13	339

## 防火対象物数

令和5年4月1日現在

用 途		市 町		小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	計	
		佐 賀 市	多 久 市					
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	14	3	1		2	20
	ロ	公会堂・集会場	85	13	25	8	6	137
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	1					1
	ロ	遊技場・ダンスホール	14		3	2	2	21
	ハ	性風俗営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	6		1		2	9
3	イ	待合・料理店	6		3	7	4	20
	ロ	飲食店	517	30	73	45	46	711
4		百貨店・物品販売業	438	28	70	37	24	597
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	219	5	45	35	1	305
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	3,148	68	268	197	156	3,837
6	イ	病院・診療所・助産所	239	14	30	27	26	336
	ロ	老人短期入所施設等	223	15	33	28	6	305
	ハ	老人デイサービスセンター等	389	38	55	44	18	544
	ニ	幼稚園・特別支援学校	65		2		2	69
7		学校・各種学校	372	26	47	47	10	502
8		図書館・博物館・美術館	17	3	3	1	4	28
9	イ	蒸気浴場等	4		1		1	6
	ロ	上記以外の公衆浴場	5					5
10		車両停車場・航空機発着場	2			1	1	4
11		神社・寺院・教会等	195	20	39	38	7	299
12	イ	工場又は作業場	923	151	182	185	139	1,580
	ロ	映画、テレビスタジオ	1					1
13	イ	自動車車庫・駐車場	166	11	23	15	4	219
	ロ	航空機等の格納庫	3				4	7
14		倉庫	864	126	175	174	109	1,448
15		前項に該当しない事業場	1,082	108	124	132	119	1,565
16	イ	特定複合用途防火対象物	623	34	52	33	9	751
	ロ	上記以外の複合用途	321	13	31	26	15	406
16の2		地下街						
17		重要文化財・史跡	13	4	4	3		24
18		50m以上のアーケード	2					2
19		市町村長の指定する山林						
20		総務省令で定める舟車						
計			9,957	710	1,290	1,085	717	13,759

## 中高層建築物(4階以上)

令和5年4月1日現在

市町		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
階・用途							
4階		376	22	12	28	32	470
5階		213	5	9	5	9	241
6階		93	2		2	1	98
7階		53		2			55
8階		48			1		49
9階		29					29
10階		37		2			39
11階		13					13
12階		5					5
13階		8					8
14階以上		29					29
<b>計</b>		<b>904</b>	<b>29</b>	<b>25</b>	<b>36</b>	<b>42</b>	<b>1,036</b>
1	イ 劇場・映画館・観覧場等	3					3
	ロ 公会堂・集会場	4					4
2	イ キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等						
	ロ 遊技場・ダンスホール	3					3
ハ	性風俗営業店舗等						
	二 カラオケボックス等						
3	イ 待合・料理店						
	ロ 飲食店	9					9
4	百貨店・物品販売業	5		1			6
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	19	1	2		1	23
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	506	20	11	17	33	587
6	イ 病院・診療所・助産所	23	1	2	1		27
	ロ 老人短期入所施設等	7	2	2	3		14
	ハ 老人デイサービスセンター等	7					7
二 幼稚園・特別支援学校							
7	学校・各種学校	49		3	4		56
8	図書館・博物館・美術館	1					1
9	イ 蒸気浴場等						
	ロ 上記以外の公衆浴場						
10	車両停車場・航空機発着場	1					1
11	神社・寺院・教会等	1					1
12	イ 工場又は作業場	16	1	1	2	3	23
	ロ 映画、テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	3					3
	ロ 航空機等の格納庫						
14	倉庫	5			1	1	7
15	前項に該当しない事業場	88	2		5	4	99
16	イ 特定複合用途防火対象物	95	2	3			100
	ロ 上記以外の複合用途	59			3		62
16の2	地下街						
17	重要文化財・史跡						
18	50m以上のアーケード						
19	市町村長の指定する山林						
20	総務省令で定める舟車						
専用住宅							

Ⅱ 危険物施設

数量別危険物施設数

令和5年4月1日現在

区分 数量	製造所	貯蔵所							取扱所			計
		屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油	販売	一般	
5倍以下	0	76	0	3	38	88	0	94	6	1	77	383
5倍超 10倍以下	2	26	11	1	33	57	0	6	13	1	33	183
10倍超 50倍以下	2	18	13	1	52	47	0	21	44	3	43	244
50倍超 100倍以下	3	4	1	0	26	6	0	1	22	0	10	73
100倍超 150倍以下	0	2	0	0	4	2	0	0	14	0	0	22
150倍超 200倍以下	1	2	0	0	4	1	0	0	27	0	3	38
200倍超 1,000倍以下	1	6	0	0	10	3	0	0	47	0	2	69
1,000倍超 5,000倍以下	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
計	9	138	25	5	167	204	0	122	173	5	168	1,016

危険物施設数

令和5年4月1日現在

区分	市町	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
製造所		3	0	1	0	5	9
貯蔵所	屋内	70	10	16	9	33	138
	屋外	0	6	0	1	18	25
貯蔵所	屋内タンク	2	0	0	2	1	5
	屋外タンク	75	11	22	20	39	167
	地下タンク	113	19	27	27	18	204
	簡易タンク	0	0	0	0	0	0
取扱所	移動タンク	65	4	12	15	26	122
	給油	104	18	27	14	10	173
	販売	5	0	0	0	0	5
取扱所	一般	92	15	20	22	19	168
計		529	83	125	110	169	1,016

### Ⅲ 防火クラブ

#### 幼少年女性防火委員会

名 称	結成年月日	事 務 局
佐賀地区幼少年女性防火委員会	平成12年4月1日	佐賀広域消防局 予防課

#### 1 委員会の設立

平成12年4月1日、佐賀広域消防局発足と同時に旧佐賀市消防本部、旧多久市消防本部、旧佐賀郡消防本部、旧小城地区消防本部の各幼少年女性防火委員会が統合し設置された。

平成25年4月1日、新に神埼地区消防本部と統合し、旧神埼地区消防本部の各幼少年女性防火委員会も統合された。

#### 幼年・少年消防クラブ

#### 1 結成状況

令和5年4月1日現在

市町	幼年消防クラブ数	ク ラ ブ 員 数	少年消防クラブ数	ク ラ ブ 員 数
佐賀市	38	2,667	1	16
多久市	13	310	1	87
小城市	12	259	1	60
神崎市	8	843		
吉野ヶ里町	5	501	1	26
合計	76クラブ	4,580名	4クラブ	189名

#### 2 令和4年度の活動状況

月	活 動 の 内 容	市 町
8	視察研修(佐賀広域消防局防災学習広場、佐賀県防災航空センター)	佐賀市
11	幼年消防クラブ員一日消防署体験	多久市
11	幼年消防クラブ員防火パレード	多久市
11	秋季火災予防運動実施に伴う、当園児の防火法被着用	多久市
1	吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市住宅用火災警報器普及啓発活動	神埼郡吉野ヶ里町
1	吉野ヶ里ロードレースin神崎市における火災予防広報活動	神崎市
3	幼年消防クラブ員研修	佐賀市
3	防火DVD上映、防火講話等	佐賀市
3	春季火災予防運動実施に伴う、当園児の防火法被着用	多久市
3	防火のつどい	佐賀市大和町

#### 女性防火クラブ

#### 1 結成状況

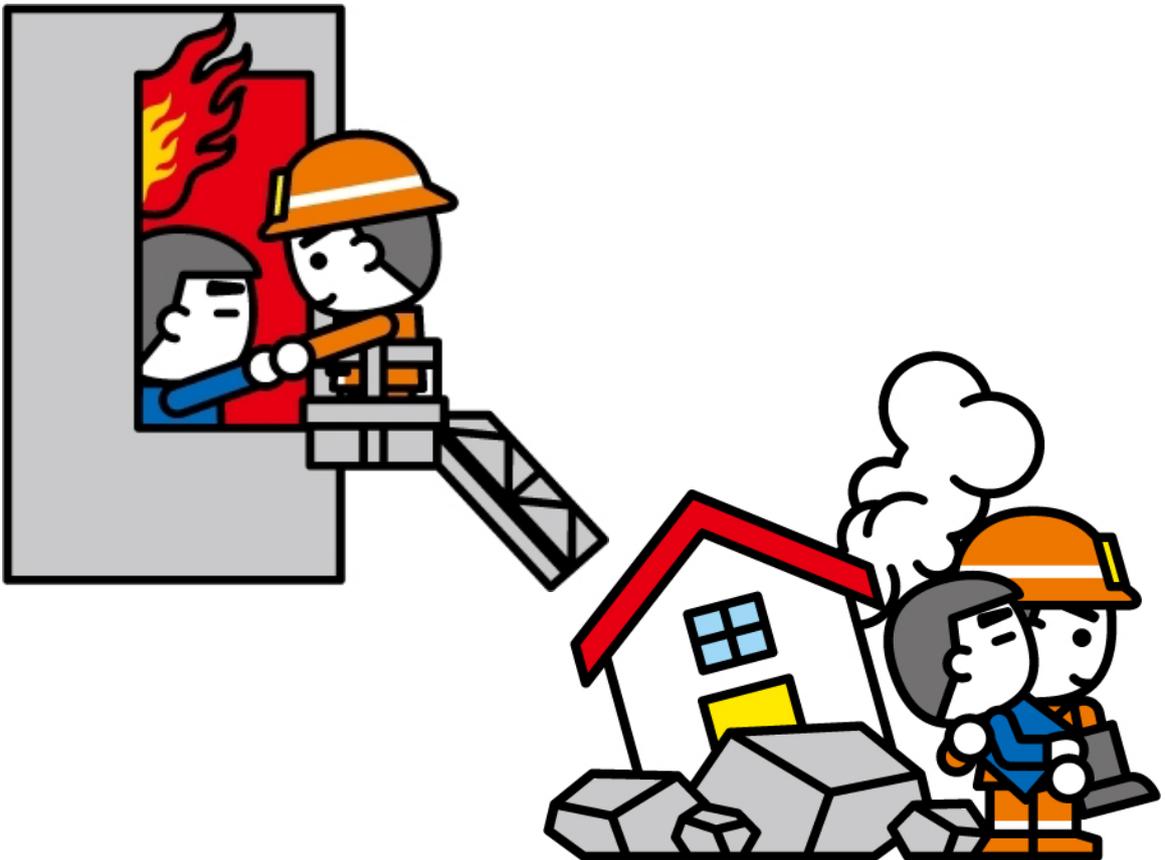
令和5年4月1日現在

市 町	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
佐賀署	1	7
合 計	1クラブ	7名

#### 2 令和4年度の活動状況

月	活 動 の 内 容	市 町
10	さが防火フェスタ2022の協力	佐賀市

# ○ 警 防





## 緊急消防援助隊の紹介

## 1 緊急消防援助隊とは

大規模災害や特殊災害が発生し、被災地の消防機関のみでは対処できないような場合に、全国の消防本部や航空隊が応援に駆け付けます。

この応援部隊が「緊急消防援助隊」です。

- (1) 契機：平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災
- (2) 創設：平成7年6月
- (3) 法制化：平成15年に成立【平成16年から施行】

## 2 全国の緊急消防援助隊の登録状況（2023年4月1日見込）

出典：総務省消防庁

部隊名	登録隊数	部隊名	登録隊数
指揮支援部隊	110隊	通信支援小隊	43隊
各部隊指揮隊	331隊	特殊災害小隊	371隊
消火小隊	2,421隊	特殊装備小隊	543隊
救助小隊	554隊	水上小隊	20隊
救急小隊	1,533隊	航空部隊	134隊
後方支援小隊	887隊	合計	6,947隊

- 指揮支援部隊：指揮支援隊、航空指揮支援隊
- 各部隊指揮隊：都道府県大隊、統合機動部隊、NBC災害即応部隊、エネルギー産業基盤災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊
- 航空部隊：航空小隊、航空後方支援小隊

## 3 佐賀広域消防局の登録状況

平成12年から緊急消防援助隊として登録しており、令和5年4月1日現在で、23隊84名が登録され、有事に備えています。

部隊名	登録隊数	登録人数	部隊名	登録隊数	登録人数
都道府県大隊 指揮隊	1隊	4名	救助小隊	2隊	10名
統合機動部隊 指揮隊	1隊	4名	救急小隊	4隊	12名
土砂・風水害機動支援部隊 指揮隊	1隊	4名	後方支援小隊	4隊	9名
NBC災害即応部隊 指揮隊	1隊	4名	特殊災害小隊	1隊	5名
消火小隊	6隊	24名	特殊装備小隊	2隊	8名

#### 4 佐賀広域消防局の応援出動実績

##### (1) 東日本大震災（平成23年）

ア 派遣部隊：5隊19名

イ 派遣延べ人員：19名

ウ 派遣期間：平成23年3月14日～3月22日（9日間）



##### (2) 熊本地震（平成28年）

ア 派遣部隊：6隊23名

イ 派遣延べ人員：104名（交代要員等含む）

ウ 派遣期間：平成28年4月14日～3月24日（11日間）



##### (3) 九州北部豪雨（平成29年）

ア 派遣部隊：6隊23名

イ 派遣延べ人員：175名（交代要員等含む）

ウ 派遣期間：平成29年7月5日～7月25日（21日間）



(4) 令和2年7月豪雨

ア 派遣部隊：5隊17名

イ 派遣延べ人員：17名

ウ 派遣期間：令和2年7月4日～7月7日（4日間）



5 緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練

緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図るため、都道府県及び市町村の協力を得て、全国を6つのブロックに区分して、毎年地域ブロック合同訓練が実施されています。

○令和4年度九州ブロック合同訓練開催場所

沖縄県与那原町 中城湾港マリンタウン地区（メイン会場）



6 緊急消防援助隊ロゴマーク

緊急消防援助隊の結束力を一層強化し、その活動をより広く周知することなどを目的として、消防庁においてロゴマークが作成されました。救助活動に使用する消防の基本ツールであるカラビナをモチーフとしています。



**緊急消防援助隊**  
National Fire Service Team for Disaster Response

## 消防水利の状況

令和5年4月1日現在

水利種別 市 町	消 火 栓		防 火 水 槽				計
	公 設	私 設	公 設		私 設		
			40m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> 未満	
佐 賀 市	2,262	259	379	97	12		3,009
多 久 市	284		249	9			542
小 城 市	671		69	36			776
神 埼 市	518		39	31			588
吉 野 ヶ 里 町	251		92	10	6	3	362
計	3,986	259	828	183	18	3	5,277

Ⅱ 救急

応急手当普及啓発活動実施状況

令和4年中

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
佐賀消防署	救命講習	件数	3	1		1	1	1	3	1	2	3	1	1	18
		受講員	7	8		6	22	20	52	7	45	46	27	20	260
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数	1			1	2	7	6	3	4	8	4	7	43
		受講員	40			46	140	236	157	108	153	128	110	109	1,227
多久消防署	救命講習	件数		1		1		1		2		1		1	7
		受講員		3		2		1		22		7		5	40
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数		2			3		3	2		3	1	2	16
		受講員		132			42		60	56		44	43	44	421
南部消防署	救命講習	件数	1	5	6	1	5	3	2	1		1		1	26
		受講員	3	20	16	13	15	23	22	8		12		10	142
	その他の普及啓発活動	件数	2		1	1	4	3			1		1	2	15
		受講員	28		8	30	282	195			20		15	198	776
北部消防署	普通救命講習	件数	1	1	1	1	2		2		4	1	1	1	15
		受講員	11	15	7	11	18		33		86	27	7	2	217
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数	2			1	2	8	4	5	2	2		1	27
		受講員	28			52	50	155	64	135	123	43		22	672
小城消防署	救命講習	件数	1		1		1		1		3	1	1		9
		受講員	1		5		9		12		36	21	10		94
	その他の普及啓発活動	件数		3			2	1	3	10	3	1	4	3	30
		受講員		27			36	20	69	178	79	17	171	25	622
神埼消防署	救命講習	件数	1	1	1		1	2	2		1	1	1	3	14
		受講員	14	7	8		2	31	25		12	24	20	28	171
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数	1	2			3	3	5	3				3	20
		受講員	20	81			70	86	138	39				35	469
合計	救命講習	件数	7	9	9	4	10	7	10	4	10	8	4	7	89
		受講員	36	53	36	32	66	75	144	37	179	137	64	65	924
	その他の普及啓発活動	件数	6	7	1	3	16	22	21	23	10	14	10	18	151
		受講員	116	240	8	128	620	692	488	516	375	232	339	433	4,187

《救命講習》心肺蘇生法(AED含む)や止血法などを指導する講習で、修了証を発行しています。

《その他の普及啓発活動》住民、団体からの要望に合わせた応急手当の講習会や応急手当の指導員を養成する講習等です。

○ 救急講習の概要

講習種別	講習時間	講習内容	修了証の交付
普通救命講習Ⅰ	3時間	心肺蘇生法(主に成人)、止血法、異物除去、AED取扱。	あり
普通救命講習Ⅱ	4時間	普通救命講習Ⅰに筆記・実技試験が加わります。	あり
普通救命講習Ⅲ	3時間	小児・乳児・新生児用の心肺蘇生法、止血法、異物除去、AED取扱。	あり
上級救命講習	8時間	心肺蘇生法(成人・小児・乳児対象)、止血法、傷病者管理法、AED取扱、外傷の手当て、搬送法、異物除去。筆記・実技試験があります。	あり
救急入門コース	3時間未満	受講者のニーズに合わせた救命に関する講習です。	なし

○ 講習の様子



## 救マーク制度

宿泊施設、公共施設、スポーツ施設、店舗など、多数の方が利用する施設の従業員に対して救マーク講習を実施し、当該受講者が施設に常駐することで、利用者に安心して利用できる施設であることを表示するもので、平成17年7月1日から施行しています。講習内容については、普通救命講習Ⅱ（普通救命講習Ⅰ＋筆記・実技試験）を行っています。（4時間）

○ 施設別救マーク交付状況

用 途	計
宿泊施設	15
公共施設	14
スポーツ施設	7
店 舗	5
その 他	3
計	44

○ 市町別救マーク交付状況

市 町	計
佐 賀 市	33
多 久 市	3
小 城 市	7
神 埼 市	
吉野ヶ里町	1
計	44

## 救急資器材保有状況

（令和5年4月1日現在）

資 機 材		署						計	資 機 材		署						計
		佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署				佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署	
観 察 用 資 器 材	患者監視用モニター	6	2	2	3	3	3	19	訓 練 用 資 器 材	心肺蘇生法訓練用人形（成人用）	20	6	9	6	6	13	60
	血中酸素飽和度測定器	8	2	3	4	3	4	24		心肺蘇生法訓練用人形（小児用）	20	8	9	8	2	12	59
	血 糖 測 定 器	6	2	3	3	3	4	21		心肺蘇生法訓練用人形（乳児用）	20	8	10	8	2	10	58
	体 温 計	20	9	5	8	12	12	66		胸骨圧迫トレーニングツール	40	40	40	39	40	40	239
	血 圧 計	12	2	5	5	7	6	37		AED トレーナー	16	6	10	6	6	13	57
処 置 用 資 器 材	電動式吸引器	7	3	4	5	5	7	31	消 毒 用 資 器 材	気道管理トレーナー（成人用）							
	自動心肺蘇生器	2	2	1	2		2	9		高度救命処置シミュレーター	4	2	3	2	2	3	16
	全身固定用具	19	7	9	9	7	11	62		外傷モデルキット						1	1
	上半身脊柱固定用具	5	3	1	2	2	4	17		オゾン殺菌装置		1					1
	半自動式除細動器	4	2	2	3	3	4	18		オートクレープ殺菌器						1	1
自動式人工呼吸器	6	2	2	3	3	4	20	低濃度オゾンガス生成装置	6	2	2	2	3	5	20		

※<sup>1</sup> 訓練用の資器材は除く。

※<sup>2</sup> 血圧計は、車両に設置されているものを除く。

※<sup>3</sup> 上半身脊柱固定用具：ショートボード、KED等

※<sup>4</sup> Z00Lは除細動で計上している。

Ⅲ 救助

救助資機材保有状況

令和5年4月1日現在

署 資器材		署						計	署 資器材		署						計
		佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署				佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署	
一般救助用器具	かぎ付きはしご	9	3	3	3	3	3	24	重量物排除器具	油圧ジャッキ	8		3	1	10		22
	三連はしご	11	2	4	5	6	6	34		油圧スプレッダー							0
	金属製折りたたみはしご	1	1	1	2	1		6		可搬ウインチ	4	2	2	2	3	2	15
	空気式救助マット	1				1		2		マット型空気ジャッキ	5		1	1	1	3	11
	救命索発射銃	1	1	2	1	1	1	7		マンホール救助器具			1		1	1	3
	救助用縛帯	17	4	4	4	7	6	42		破壊用器具	万能斧	42	11	15	16	16	23
高度救助用器具	画像探索機	2				1		3	携帯用コンクリート破壊器具		1	1	2	1	2	1	8
	地中音響探知機	1				1		2	削岩機		3		1		4		8
	熱画像直視装置	2	1	1	1	2	1	8	ハンマードリル		1			1	1		3
	夜間用暗視装置	1				1		2	呼吸保護用器具	空気呼吸器	60	22	25	19	28	22	176
	地震警報器	1				1		2		酸素呼吸器	5				4		9
	電磁波探査装置	1						1		簡易呼吸器							0
切断用器具	油圧切断機	1						1		防塵マスク	17				2		19
	エンジンカッター	7	2	3	3	4	3	22	送排風機	3	1	1	1	1		7	
	ガス溶断機	2						2	エアラインマスク一式	2						2	
	チェーンソー	6	4	3	3	6	5	27	水難救助用器具	潜水器具				14			14
	鉄線カッター	17	4	11	10	8	11	61		救命胴衣	50	21	25	32	31	31	190
	空気鋸	2	1		1	1		5		水中投光器				18			18
	アークエアー溶断機							0		救命浮環	14	2	7	5	5	3	36
測定用器具	可燃性ガス測定器	6	2	2	2	2	3	17	浮標	2			2			4	
	有毒ガス測定器	1				1	3	5	救命ボート	2	2	2	3	3	2	14	
	放射線測定器	27	13	15	15	13	7	90	船外機		1		2	1	1	5	
隊員保護用器具	耐電手袋	12	3	3	4	5	2	29	その他の救助用器具	投光器	16	6	7	3	6	7	45
	耐電衣	12	3	3	1	2		21		携帯投光器	26	16	11	9	12	1	75
	耐電ズボン	9	3	3	1			16		携帯拡声器	25	10	16	10	10	14	85
	耐電長靴	9	1	2	1	2		15		携帯無線機	42	16	18	17	20	24	137
	化学防護服	42	31	93		55	110	331		応急処置用セット	3	2	2	3	4	2	16
	防塵メガネ	3						3		緩降機	1		1				2
	携帯警報器	6	9	13	4	13	20	65		バスケット型担架	3	2	2	3	2	1	13
	防毒マスク	27		30	3	10	3	73		発電機	9	2	3	3	4	2	23
	耐熱服	4		4			5	13		救助用支柱器具	1						1

# 国際消防救助隊の紹介

## 1 国際消防救助隊とは

海外における大規模災害発生時に、被災国等からの要請を受けて派遣される国際緊急援助隊救助チーム（JDR）のうち、消防機関で構成する救助チームのことを「国際消防救助隊」と言います。

国際消防救助隊は、全国の消防本部のうち、一定の要件を満たした77消防本部599名の救助隊員が登録されています。

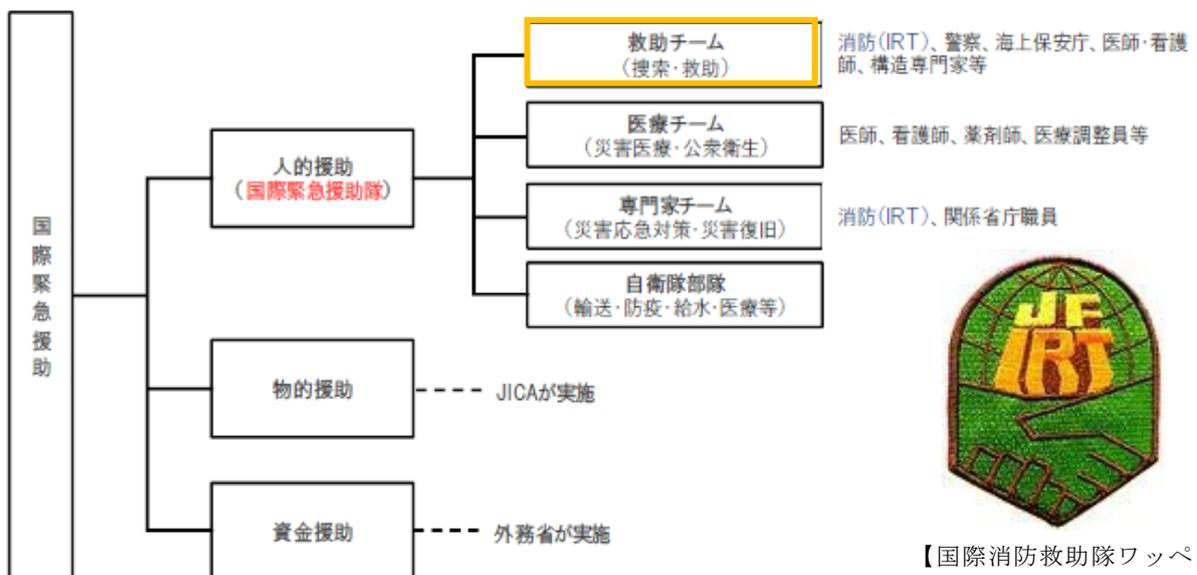
## 2 佐賀広域消防局の隊員登録等

国際消防救助隊の更なる捜索、救助体制の充実強化を目的として、平成21年10月に「国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準」が改正されました。

これを受け、佐賀広域消防局では協力市町村として登録申請を行い、同年協力市町村として登録され、現在6名の隊員が登録されています。

## 3 国際緊急援助隊の組織

国際緊急援助隊は、外務省、警察庁、消防庁、海上保安庁及び国際協力機構（JICA）の業務調整員並びに国際協力機構に登録している医療班、構造評価専門家で組織され、救助隊員は、消防庁、警察庁及び海上保安庁の3庁で構成されています。



#### 4 国際消防救助隊の派遣実績

海外への災害派遣は、1987年の「国際緊急援助隊の派遣に関する法律（通称JDR法）」施行前の2回を含めると、これまでに22回行われています。

近年では、令和5年2月に発生したトルコ共和国における地震災害において、トルコ共和国政府からの援助要請に対し、国際消防救助隊17名が派遣されています。

※ 現在のところ、佐賀広域消防局からの派遣実績はありません。

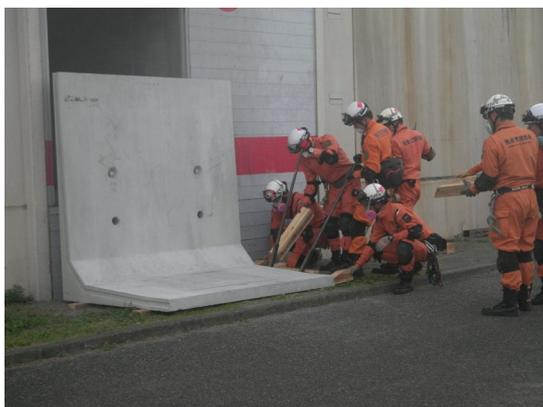
#### 5 国際消防救助隊の訓練

##### (1) 国際消防救助隊連携訓練

国際消防救助隊員として必要とされる基礎的活動技術、知識の習得及び登録隊員相互の連携強化を図ることを目的に、毎年全国2か所で全ての登録消防本部が参加する連携訓練が実施されています。

##### (2) 九州地区国際消防救助隊合同訓練

毎年、九州7県の9登録消防本部が参加する合同訓練が実施されています。



国際消防救助隊の派遣状況

(令和3年11月1日現在)

	派遣年月日	災害名	被災地	被害状況	派遣実績、活動概要等
1	昭61.8.27~9.6 (11日間)	ニオス湖 有毒ガス噴出災害	カメルーン共和国 ニオス湖周辺	死者 1,700人以上	国際消防救助隊員1人(東京消防庁) 有毒ガスの再噴出に備え、調査団に対する呼吸保護具の指導
2	昭61.10.11~10.20 (10日間)	エル・サルバドル 地震災害	エル・サルバドル共和国 サンサルバドル市	死者 1,226人 倒壊家屋 30,000戸	国際消防救助隊員9人(東京消防庁5人、横浜市消防局3人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
3	平2.6.22~7.2 (11日間)	イラン 地震災害	イランイスラム共和国 カスピ海沿岸	死者 80,000人以上	国際消防救助隊員6人(東京消防庁5人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
4	平2.7.18~7.26 (9日間)	フィリピン 地震災害	フィリピン共和国 ルソン島北部	死者 1,600人以上	国際消防救助隊員11人(東京消防庁2人、名古屋市消防局4人、広島市消防局4人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
5	平3.5.15~6.6 (23日間)	バングラデシュ サイクロン災害	バングラデシュ 人民共和国	死者 約130,000人	国際消防救助隊員38人(東京消防庁17人、大阪市消防局11人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、消防庁2人)及びヘリコプター2機 被災者への救援物資の輸送等を実施
6	平5.12.13~12.20 (8日間)	マレーシア ビル倒壊被害	マレーシア クアラルンプール郊外 ウル克蘭地区	死者 48人 倒壊ビル 1棟	国際消防救助隊員11人(東京消防庁6人、名古屋市消防局2人、北九州市消防局2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
7	平8.10.30~11.6 (8日間)	エジプト ビル崩壊被害	エジプト・アラブ共和国 カイロ郊外 ヘリオポリス	死者 64人 崩壊ビル 1棟	国際消防救助隊員9人(東京消防庁3人、札幌市消防局2人、大阪市消防局2人、松戸市消防局1人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
8	平9.10.22~11.11 (21日間)	インドネシア 森林火災	インドネシア共和国 ランブン州	焼失面積 18,000ha (ランブン州内)	国際消防救助隊員30人(東京消防庁19人、名古屋市消防局5人、大阪市消防局3人、横浜市消防局2人、消防庁1人)及びヘリコプター2機 火災地点の上空からの情報収集、消火活動の助言
9	平11.1.26~2.4 (10日間)	コロンビア 地震災害	コロンビア共和国 アルメニア市周辺	死者 1,171人 負傷者 4,765人	国際消防救助隊員15人(東京消防庁8人、大阪市消防局2人、千葉市消防局2人、船橋市消防局2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
10	平11.8.17~8.24 (8日間)	トルコ 地震災害	トルコ共和国 ヤロヴァ地区周辺	死者 約15,370人 負傷者 23,954人	国際消防救助隊員25人(東京消防庁12人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、市川市消防局2人、尼崎市消防局2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
11	平11.9.21~9.28 (8日間)	台湾 地震災害	台湾中部	死者 2,333人 負傷者 10,002人	国際消防救助隊員46人(東京消防庁18人、仙台市消防局4人、千葉市消防局3人、京都市消防局4人及び川口市、松戸市、新潟市、岡山市、倉敷市、佐世保市、鹿児島市消防局から各2人、消防庁3人) 倒壊建物からの救助
12	平15.5.22~5.29 (8日間)	アルジェリア 地震災害	アルジェリア 民主人民共和国 ブーメルデス県周辺	死者 2,266人 負傷者 10,000人以上	国際消防救助隊員17人(東京消防庁8人、京都市消防局、仙台市消防局、川口市消防本部、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部から各2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助
13	平16.2.25~3.1 (6日間)	モロッコ 地震災害	モロッコ王国 アルホセイマ周辺	死者 628人 負傷者 926人	国際消防救助隊員7人(東京消防庁4人、千葉市消防局1人、京都市消防局1人、消防庁1人) 現地被害状況の調査、救助資機材取扱いに関する技術供与等を実施
14	平16.12.29~17.1.20 (23日間)	スマトラ沖大地震・ インド洋津波災害	タイ王国 ブーケット周辺	死者・行方不明者 229,866人	国際消防救助隊員46人(東京消防庁23人、大阪市消防局15人、千葉市消防局2人、横浜市消防局1人、相模原市消防本部1人、川越地区消防組合消防本部1人、消防庁3人)及びヘリコプター2機 捜索救助活動 人員・物資搬送 捜索技術指導等を実施
15	平17.10.9~10.18 (10日間)	パキスタン・ イスラム共和国 地震災害	パキスタン・イスラム共和国 バトグラム周辺	死者 73,338人 負傷者 69,412人	国際消防救助隊員13人(東京消防庁6人、横浜市消防局3人、船橋市消防局2人、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部1人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動
16	平20.5.15~5.21 (7日間)	中国四川省における 地震災害	中華人民共和国四川省 広元市周辺	死者 69,227人 負傷者 374,643人	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、川崎市消防局3人、名古屋市消防局3人、市川市消防局2人、藤沢市消防本部2人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動
17	平21.10.1~10.8 (8日間)	インドネシア 西スマトラ州 パダン沖地震災害	インドネシア共和国 パダン市周辺	死者 1,117人 負傷者 約2,900人	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、札幌市消防局3人、福岡市消防局3人、さいたま市消防局2人、横須賀市消防局2人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動ほか
18	平23.2.22~3.12 (19日間)	ニュージーランド 南島地震災害	ニュージーランド クライストチャーチ市	死者 181人 (うち邦人28人)	国際消防救助隊員33人(東京消防庁16人、京都市消防局3人、千葉市消防局3人、相模原市消防局2人、高松市消防局2人、新潟市消防局2人、福岡市消防局2人、消防庁3人) 建物倒壊現場での捜索救助活動ほか
19	平27.4.26~5.9 (14日間)	ネパール地震災害	ネパール連邦民主共和国 カトマンズ市	死者 8,896人 (うち邦人1人) 負傷者 22,302人 (うち邦人1人)	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、さいたま市消防局3人、浜松市消防局3人、川越地区消防局1人、秋田市消防本部1人、高崎市等広域消防局1人、富山市消防局1人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動
20	平29.9.21~9.28 (8日間)	メキシコ地震災害	メキシコ合衆国 メキシコシティ	死者 369人 負傷者 約8,800人	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、仙台市消防局3人、京都市消防局3人、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部1人、豊中市消防局1人、和歌山市消防局1人、高知市消防局1人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動
21	平30.2.9 ~ 2.11 (3日間)	台湾東部地震災害	台湾 花蓮県	死者 17人 負傷者 285人	国際消防救助隊員2人(東京消防庁2人) 捜索資機材の貸与及び資機材取扱要領の指導を実施

※1及び2については、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」制定前であり、JICAの短期専門家として派遣されている。

参考 総務省消防庁HPより



# ○通信





指令管制業務は、消防活動の中核的役割を果たすもので、災害通報の受付、伝達、情報収集等あらゆる災害に迅速な対応が求められています。

佐賀広域消防局では、これに応えるため、令和3年4月に新庁舎建設にともない「高機能消防指令センター」を運用開始、これを機に課名を通信指令課から情報指令課に変更し、今まで以上に災害点の把握、出動部隊の選択決定、出動指令・支援情報の提供、現場からの画像送信など効果的な運用を行い、増え続ける携帯電話からの通報にも、統合型位置情報通知システムの活用により、正確な通報場所特定、出動指令時間の短縮に効果を上げています。署所との連携強化として情報共有システムを導入し、最新の災害事案や車両運用状況、現場映像、防災ヘリからの映像など、多くの情報を共有し災害活動にあたる事が出来ます。

また、近年の気象状況変化に伴い、多発する自然災害など、大規模災害時の対応として各指令台に輻輳モードを搭載、最大14席での受付業務の実施が可能となりました。万一局庁舎が被災し業務継続が不可能な場合でも、可搬型指令システムを佐賀広域管内の消防署に運搬し、指令システムを構築、最低限の指令業務を継続することが可能となっています。

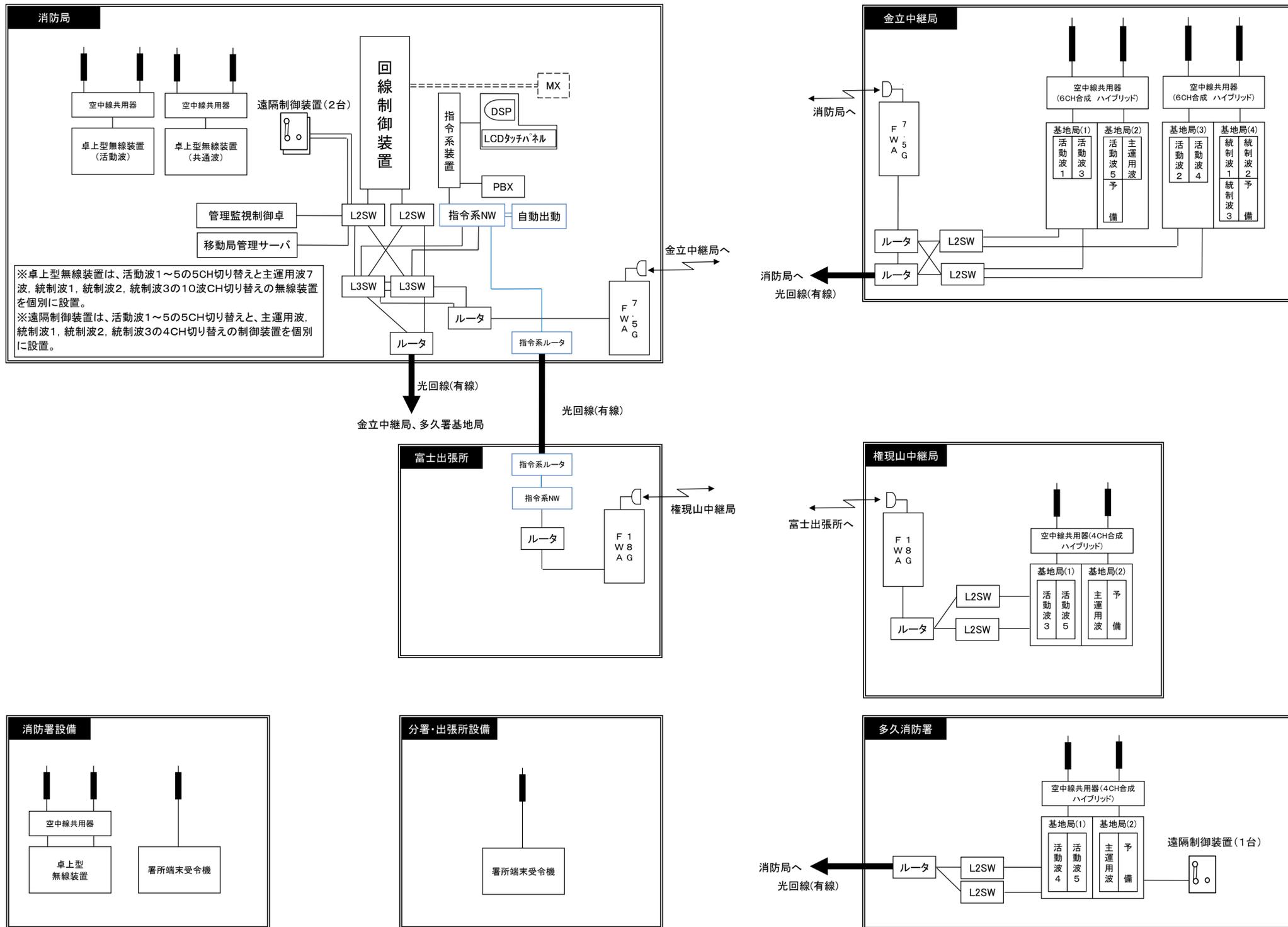
さらに、聴覚や発話に障がいをお持ちの方を対象とした NET119通報システムを導入しました。システム内容は、音声による119番通報が困難な方が、スマートフォンや携帯電話からチャット形式で「火災」「救急」「災害」などを選び通報するシステムとなります。

このような施設面における充実とともに、119番通報の中で最多を占める救急要請に対し、応急処置等の口頭指導を含め、重度傷病者の救命効果の向上を図っています。





# デジタル無線設備システム系統図



## 無線局の配置状況

### [基地局・固定局]

令和5年4月1日現在

配 置	局種別	出力	識別信号	数 量
金立山	基地	10w	きんりゅうしょうぼう	1
	固定(FWA)	5mw		1
権現山	基地	10w	ごんげんしょうぼう	1
	固定(FWA)	251mw		1
多久	基地	10w	たくしょうぼう	1
佐賀	固定(FWA)	5mw	さがしょうぼう	1
富士	固定(FWA)	251mw	ふじしょうぼう	1

### [移動局]

令和5年4月1日現在

配 置	車両・携帯の別	出力	主な識別信号	数 量
消防局	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	3
	卓上型固定移動局	5w	さしょうしらい	2
	車載型移動局	5w	さしょうほんぶ	6
	携帯型移動局	1w・2w・5w	さしょうほんぶ	6
	署活系	1w	さがしらい・さがほんぶ	15
佐賀消防署	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうしき・さしょうさが	17
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	5
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうさが	13
	署活系	1w	さが・にし・ひがし	28
多久消防署	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうたく	8
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	2
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうたく	5
	署活系	1w	たく	11
南部消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうなんぶ	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうなんぶ	8
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	2
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうなんぶ	7
	署活系	1w	なんぶ・くぼた	11
北部消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうほくぶ	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうほくぶ	9
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	3
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうほくぶ	6
	署活系	1w	ほくぶ・ふじ	11
小城消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうおぎ	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうおぎ	9
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	3
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうおぎ	7
	署活系	1w	おぎ・おぎきた	15
神埼消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうかんざき	1
	車載型移動局(消防車・緊急車)	5w	さしょうかんざき	9
	車載型移動局(救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	4
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうかんざき	8
	署活系	1w	かんざき・よしのがり・さんせ	16

## ○ 統計

---





## I 火災

### 火災の種別

火災種別	摘 要
建物火災	建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
林野火災	森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
車両火災	自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
船舶火災	船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
航空機火災	航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
その他の火災	上記火災以外の火災をいう。

### 令和4年中の火災概要

佐賀広域消防局管内における令和4年中の火災発生件数は108件で、前年より6件増加しています。

火災種別ごとにみると、建物火災が50件(前年比;-2)、林野火災3件(前年比;±0)、車両火災11件(前年比;-1)、船舶火災1件(前年比;+1)、航空機火災0件(前年比;±0)、その他の火災43件(前年比;+8)となっています。

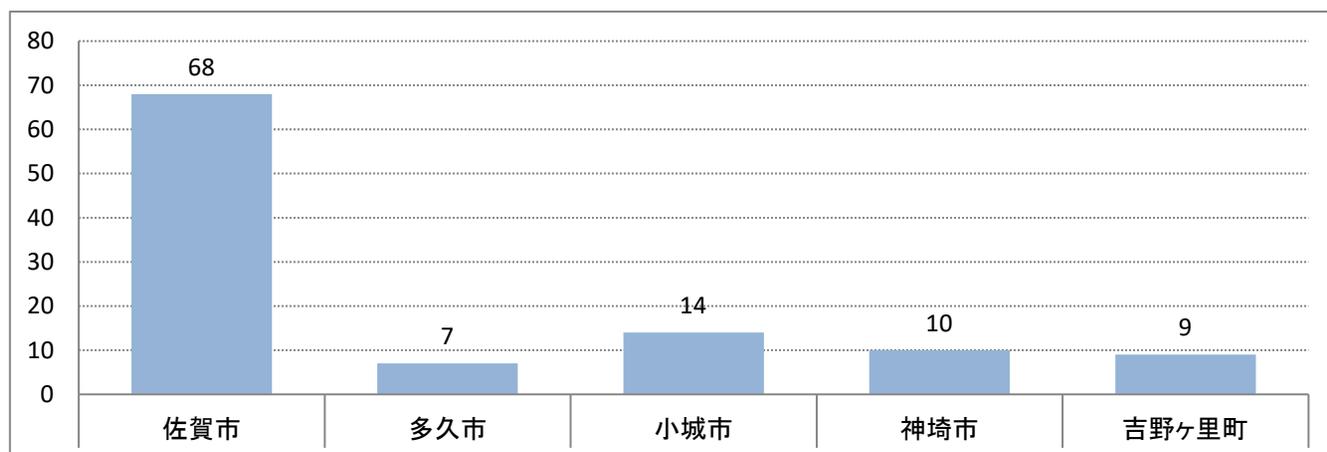
出火原因の第1位は「火入れ」で15件(13.88%)、次に「たき火」が9件(8.33%)、次いで「こんろ」が7件(6.48%)、「排気管」が6件(5.55%)、「電気機器」が5件(4.62%)となっています。

火災による死者は3名で前年より3名増加しており、負傷者は25名で前年より2名増加しています。

## 火災発生状況

令和4年中

区分		市 町					計	
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町		
火災 件 数	火災 種 別	建 物	32	4	9	2	3	50
		林 野	1		1	1		3
		車 両	4	2	1	2	2	11
		船 舶	1					1
		航 空 機						0
		そ の 他	30	1	3	5	4	43
	爆 発						0	
計		68	7	14	10	9	108	
焼 損 棟 数	火 元	全 焼	10	2	2		2	16
		半 焼	2		1			3
		部 分 焼	9	1	2			12
		ぼ や	11	1	4	2	1	19
	類 焼	全 焼	5	1				6
		半 焼	1					1
		部 分 焼	10					10
		ぼ や	5		1			6
計		53	5	10	2	3	73	
罹 災 世 帯	全 損	13	2	1		2	18	
	半 損	2		3			5	
	小 損	23	2	5			30	
	計	38	4	9	0	2	53	
罹 災 人 員	人 員	91	6	20		7	124	
	死 者		3				3	
	負 傷 者	19	3	2		1	25	





## 月別原因別火災発生状況

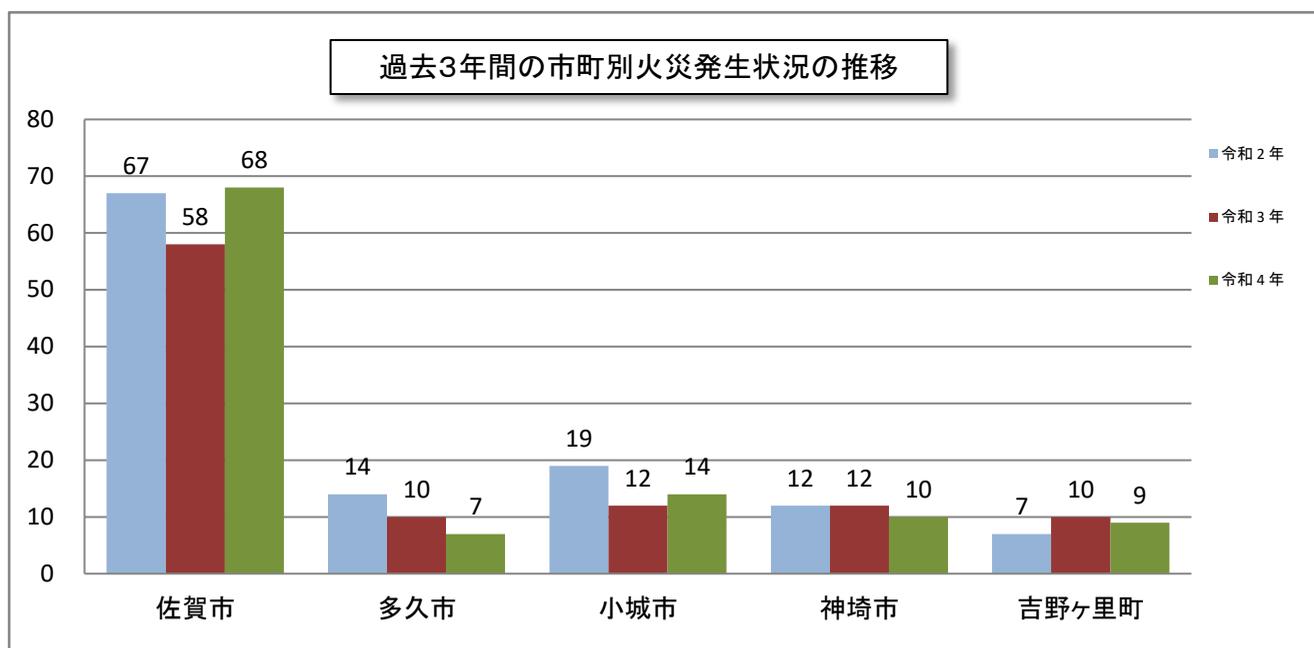
令和4年中

原因 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
たばこ		1	1					1					3
こんろ	1	1			1			1		1		2	7
かまど													
風呂かまど													
炉						1							1
焼却炉							1					1	2
ストーブ		2											2
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管		1	1	1	2			1					6
電気機器		1			1		1	1			1		5
電気装置													
電灯・電話配線											1		1
内燃機関													
配線器具			1								1	1	3
火遊び													
マッチ・ライター													
たき火	1	2	3	1	1						1		9
溶接機・切断機		1	1									1	3
灯火		2								1			3
衝突の火花													
取灰												1	1
火入れ		3		1	5	1	1		1		1	2	15
放火			1										1
放火の疑い				3									3
その他		3			5	3	3	3	2	6	3	2	30
不明	2	1	2		4					2		2	13
<b>計</b>	<b>4</b>	<b>18</b>	<b>10</b>	<b>6</b>	<b>19</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>10</b>	<b>8</b>	<b>12</b>	<b>108</b>

※「その他」には、雷、自然発火及び輻射熱によるものが含まれる。

過去3年間の火災発生状況

年・種別		市町	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	計
令和2年	火災種別	建物	37	4	10	5	2	58
		林野						
		車両	6	3	3		2	14
		船舶						
		航空機						
		その他	24	7	6	7	3	47
計	火災発生件数		67	14	19	12	7	119
	死者の数		3	2	1			6
令和3年	火災種別	建物	27	5	8	8	4	52
		林野	2			1		3
		車両	7		3		2	12
		船舶						
		航空機						
		その他	22	5	1	3	4	35
計	火災発生件数		58	10	12	12	10	102
	死者の数							
令和4年	火災種別	建物	32	4	9	2	3	50
		林野	1		1	1		3
		車両	4	2	1	2	2	11
		船舶	1					1
		航空機						
		その他	30	1	3	5	4	43
計	火災発生件数		68	7	14	10	9	108
	死者の数			3				3



過去3年の火災原因

年	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
令和 2 年	火入れ	20	放火	9	こんろ	6	たばこ	5	ストーブ	4
									電気機器	
									配線器具	
令和 3 年	たき火	12	たばこ	11	火入れ	6	電灯・ 電話配線	5	排気管	4
					放火				配線器具	
令和 4 年	火入れ	15	たき火	9	こんろ	7	排気管	6	電気機器	5

※「たき火」、「火入れ」について

屋外における焼却行為のうち、ゴミや枯草などを一箇所に集めて焼却することを「たき火」、  
地面に生えたままの下草などを焼却すること(野焼き)を「火入れ」として区分している。  
令和2年の「火入れ」には、「たき火」によるものを含んでいる。

## II 救急

### 救急事故の種別

事故種別	摘 要
火災事故	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
水難事故	水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
労働災害事故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
運動競技事故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者。審判員及び関係者等の事故（ただし観覧中のものが直接に運動競技用具等によって負傷した場合は含み、競技場の混乱による事故等は含まない）をいう。
一般負傷事故	他に分類されない不慮の事故をいう。
加害事故	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自損行為事故	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急病事故	疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
その他	転院搬送、医師、看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のものをいう。

### 令和4年中の救急出動概要

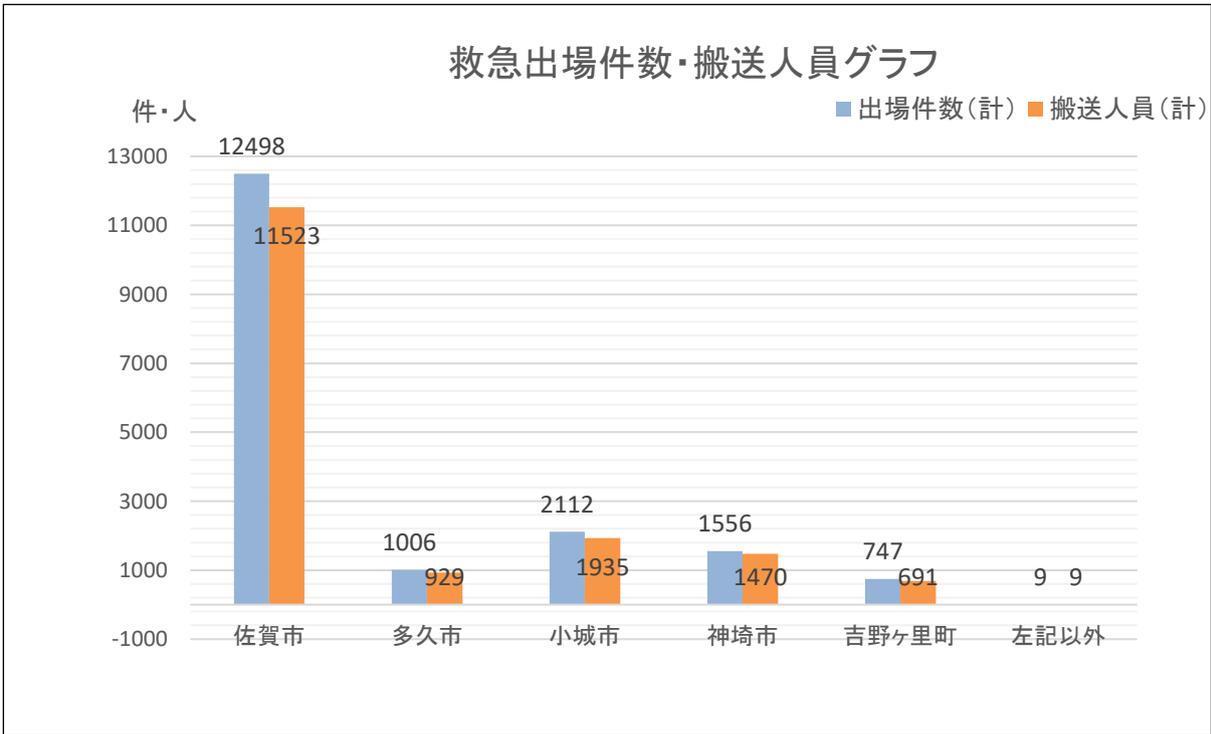
令和4年中における救急出場件数は、17,928件（前年14,891件）、搬送人員は、16,557人（前年13,814人）で、前年に比べ出場件数が3,037件増、搬送人員は2,743人増となっています。

事故種別で見ると、「急病」が10,618件（59.2%）、次いで「その他（転院搬送）」2,478件（13.8%）、「一般負傷」2,259件（12.6%）、「交通事故」1,163件（6.5%）となっています。

## 事故種別救急出場件数・搬送人員

令和4年中

市町		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	計
種別								
火災	災害	77	11	25	12	11		136
自然	災害	2	1					3
水	難	11						11
交	通	785	50	120	128	72	8	1,163
労働	災害	69	7	17	14	10		117
運動	競技	145	9	14	12	3		183
一般	負傷	1,525	169	274	224	67		2,259
加	害	31	1	2	4			38
自損	行為	80	10	14	18	14		136
急	病	7,330	640	1,247	929	471	1	10,618
その他	転院	1,841	80	320	162	75		2,478
	医師	3						3
	資器材							0
	その他	599	28	79	53	24		783
<b>出場件数(計)</b>		<b>12,498</b>	<b>1,006</b>	<b>2,112</b>	<b>1,556</b>	<b>747</b>	<b>9</b>	<b>17,928</b>
傷病程度	死	207	29	34	29	14		313
	重	1,235	87	198	152	72		1,744
	中	5,531	464	878	704	318	3	7,898
	軽	4,549	349	825	585	287	6	6,601
	その他	1						1
<b>搬送人員(計)</b>		<b>11,523</b>	<b>929</b>	<b>1,935</b>	<b>1,470</b>	<b>691</b>	<b>9</b>	<b>16,557</b>
不搬送		975	77	177	86	56	0	1,371

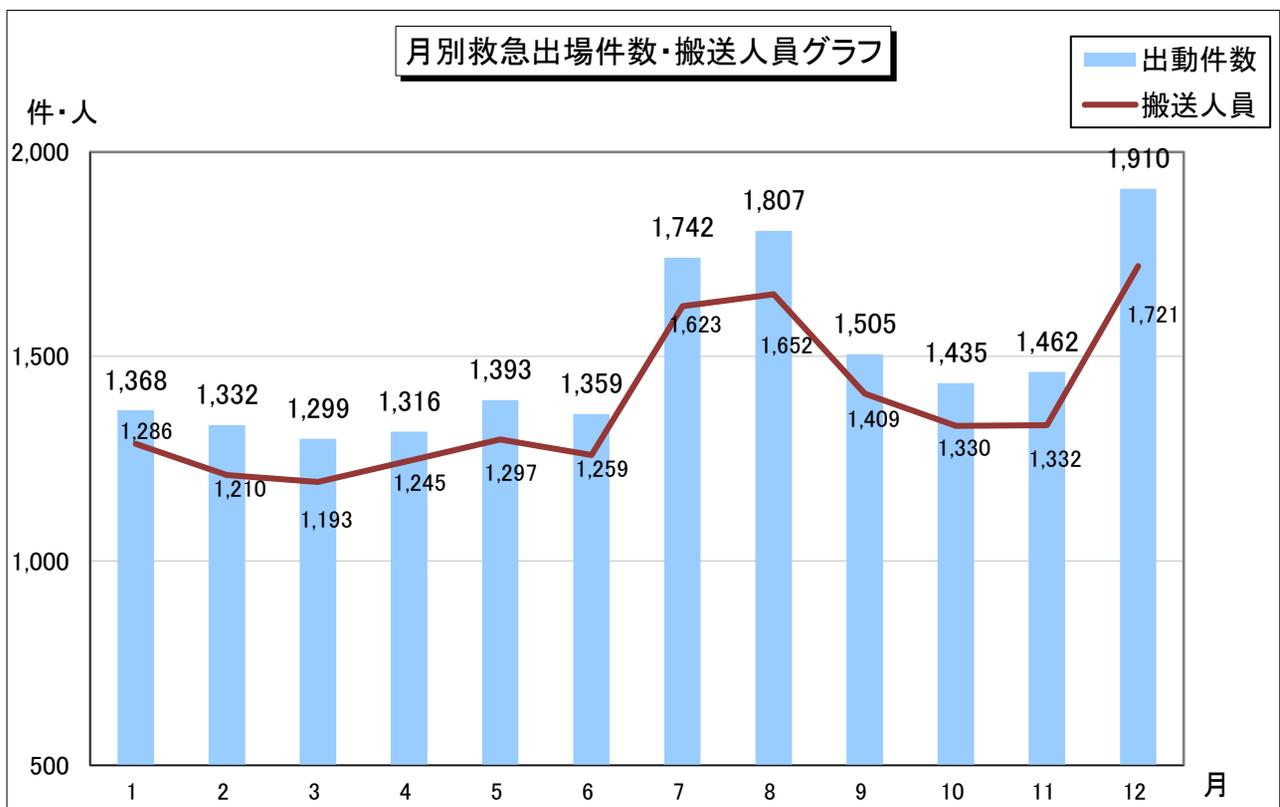


## 月別救急出場件数・搬送人員

令和4年中

市町 月	市町						計
	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	
1月	963	78	160	113	54		1,368
	903	73	153	107	50		1,286
2月	913	69	165	123	62		1,332
	824	65	159	111	51		1,210
3月	918	57	171	93	58	2	1,299
	836	48	159	89	59	2	1,193
4月	944	77	129	115	51		1,316
	893	74	121	108	49		1,245
5月	978	74	156	124	61		1,393
	905	68	147	117	60		1,297
6月	945	85	136	139	54		1,359
	869	79	124	138	49		1,259
7月	1,220	87	226	138	70	1	1,742
	1,136	79	207	133	67	1	1,623
8月	1,256	104	229	158	58	2	1,807
	1,150	96	207	146	51	2	1,652
9月	1,029	81	191	134	70		1,505
	958	80	181	125	65		1,409
10月	1,001	96	154	125	59		1,435
	926	90	142	120	52		1,330
11月	1,015	88	163	129	63	4	1,462
	940	80	132	118	58	4	1,332
12月	1,316	110	232	165	87		1,910
	1,183	97	203	158	80		1,721
計	12,498	1,006	2,112	1,556	747	9	17,928
	11,523	929	1,935	1,470	691	9	16,557

※上段は出場件数、下段は搬送人員を示す。

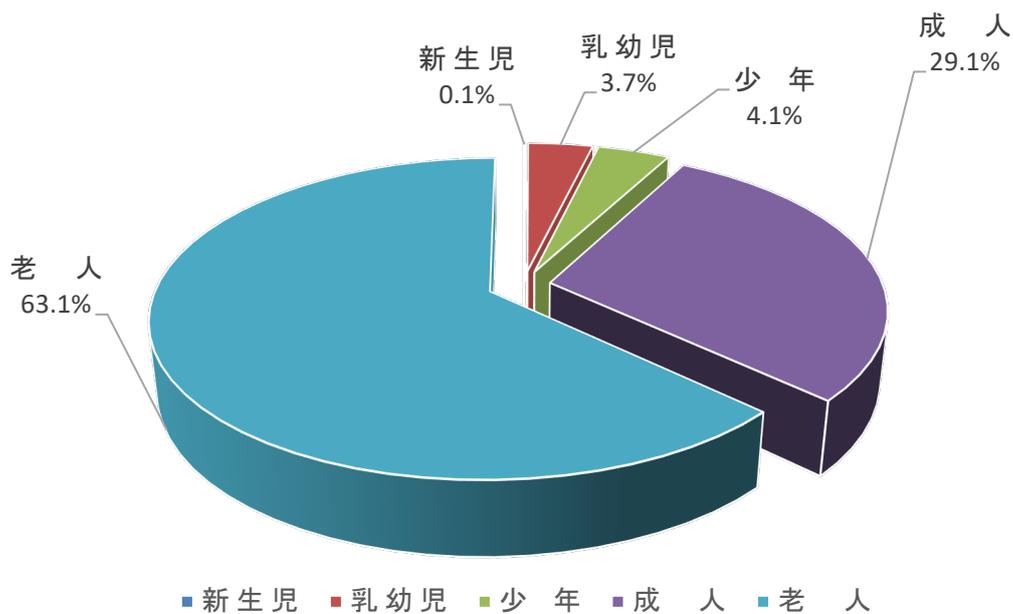


## 年齢別搬送人員

令和4年中

市 町 年 齢	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
新生児 生後 28日以内	12	1					13
乳幼児 29日以上 7歳未満	407	28	77	55	41		608
少年 7歳以上 18歳未満	470	40	81	57	29		677
成人 18歳以上 65歳未満	3,410	215	561	400	223	9	4,818
老人 (65歳以上)	7,224	645	1,216	958	398		10,441
<b>計</b>	<b>11,523</b>	<b>929</b>	<b>1,935</b>	<b>1,470</b>	<b>691</b>	<b>9</b>	<b>16,557</b>

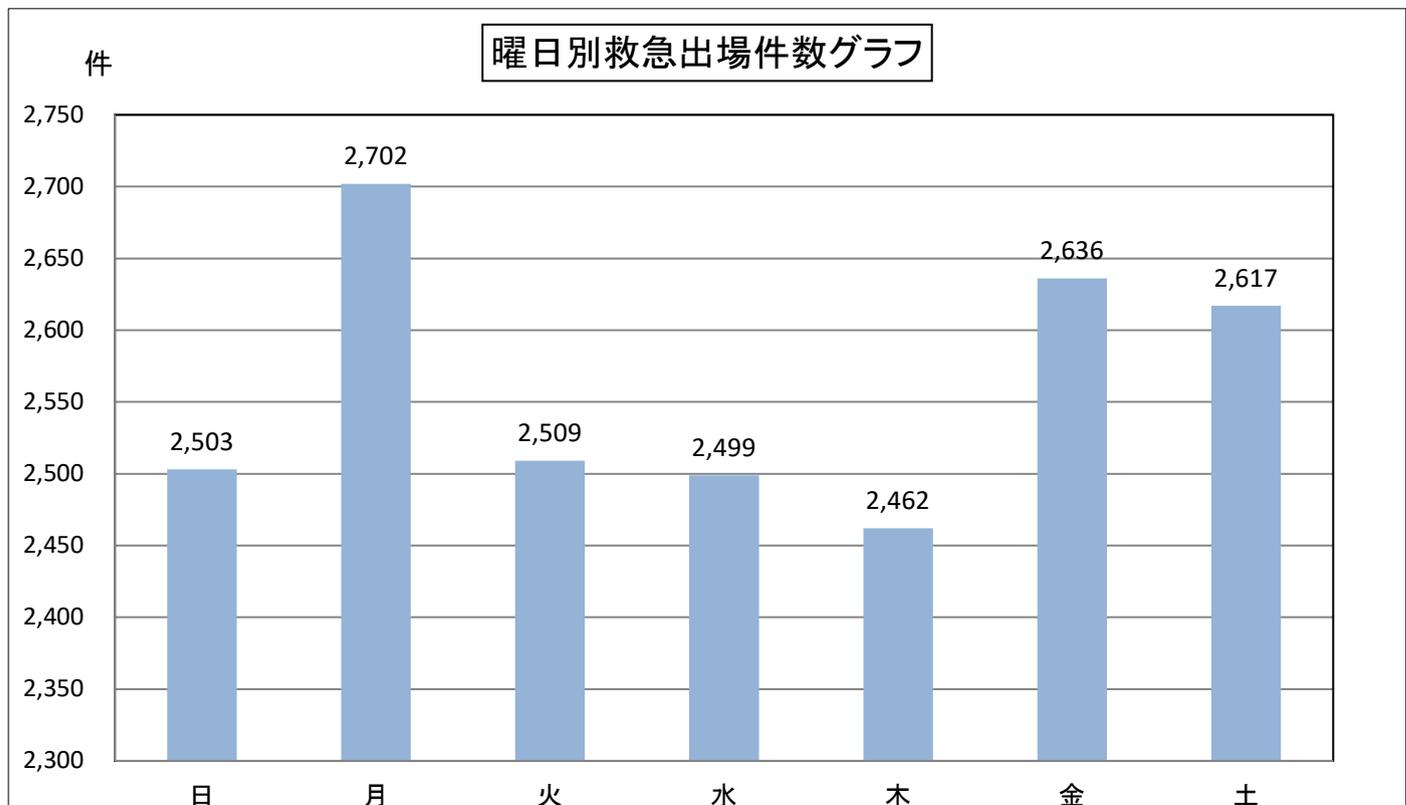
年齢別搬送人員とその割合グラフ



## 曜日別救急出場件数

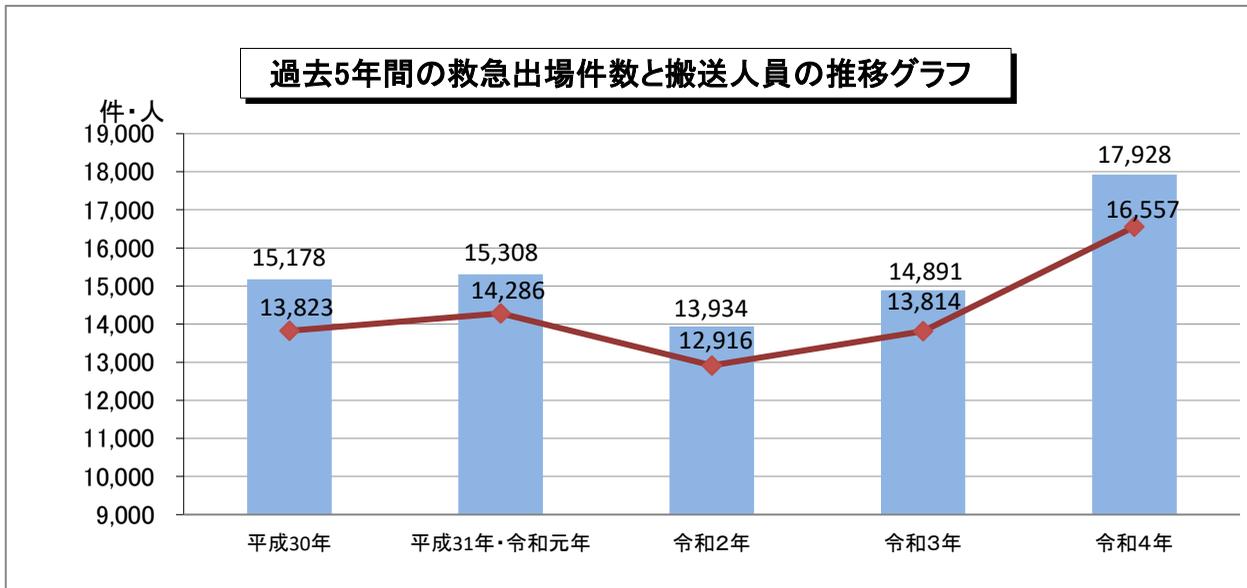
令和4年中

市町 曜日	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
日	1,752	141	291	203	115	1	2,503
月	1,878	153	312	255	103	1	2,702
火	1,736	148	300	226	94	5	2,509
水	1,719	147	311	215	106	1	2,499
木	1,711	136	312	195	108		2,462
金	1,873	147	293	223	99	1	2,636
土	1,829	134	293	239	122		2,617
計	12,498	1,006	2,112	1,556	747	9	17,928



### 過去3年間の救急出場件数

市 町		年・種別						計
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	
令和2年	火災	53	10	13	8	5		89
	自然災害	8			2			10
	水難	7	1	2	1	1		12
	交通	756	44	111	130	58	1	1,100
	労働災害	81	12	18	9	12		132
	運動競技	94	5	4	11	3		117
	一般負傷	1,248	123	246	166	85	2	1,870
	加害	37	1	5	3	1		47
	自損行為	93	7	16	7	5		128
急病	5,275	510	945	710	334	1	7,775	
その他	1,888	115	315	225	109	2	2,654	
計	出場件数	9,540	828	1,675	1,272	613	6	13,934
	搬送人員	8,854	758	1,561	1,164	576	3	12,916
令和3年	火災	61	16	17	14	11		119
	自然災害	15	6	3	4	1		29
	水難	7	2		1			10
	交通	815	51	140	116	63	2	1,187
	労働災害	62	10	16	10	11		109
	運動競技	99	9	4	6	2		120
	一般負傷	1,334	138	236	189	99		1,996
	加害	23	5	9	6	4		47
	自損行為	99	5	13	14	12	1	144
急病	5,628	517	947	780	355		8,227	
その他	2,105	127	332	235	104		2,903	
計	出場件数	10,248	886	1,717	1,375	662	3	14,891
	搬送人員	9,540	794	1,601	1,253	625	1	13,814
令和4年	火災	77	11	25	12	11		136
	自然災害	2	1					3
	水難	11						11
	交通	785	50	120	128	72	8	1,163
	労働災害	69	7	17	14	10		117
	運動競技	145	9	14	12	3		183
	一般負傷	1,525	169	274	224	67		2,259
	加害	31	1	2	4			38
	自損行為	80	10	14	18	14		136
急病	7,330	640	1,247	929	471	1	10,618	
その他	2,443	108	399	215	99		3,264	
計	出場件数	12,498	1,006	2,112	1,556	747	9	17,928
	搬送人員	11,523	929	1,935	1,470	691	9	16,557



Ⅲ 救助

救助事故の種別

事故種別	摘要
建物火災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
建物火災以外	林野、車両、航空機その他の火災において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
水難事故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
風水害等自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
機械による事故	エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
建物等による事故	建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
ガス及び酸欠事故	一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
破裂事故	火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。ただし、瞬間的な燃焼現象である混合ガス爆発、ガスの分解燃焼、粉塵爆発などの化学的変化による爆発は、火災として扱う。
その他の事故	前に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。(出動したが誤報、いたずらであった場合も該当する。)

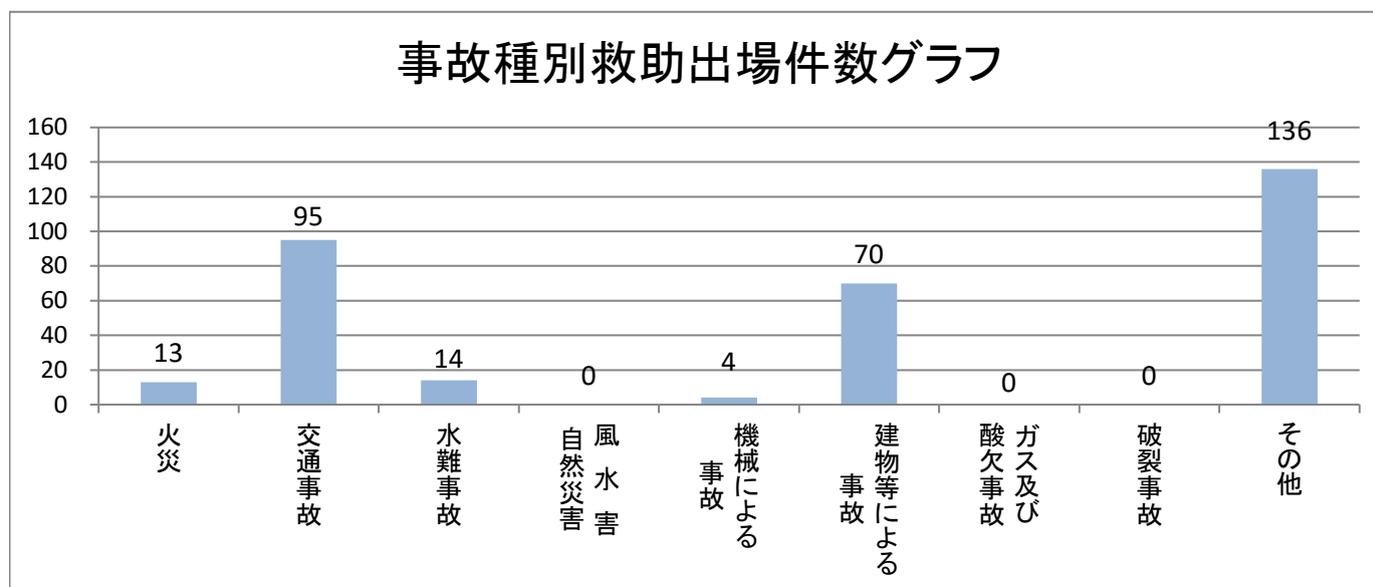
令和4年中の救助出動概要

- 令和4年中の救助出動件数:332件(前年比:-34件)
- 事故種別ごとの主な内訳
  - ①「その他の事故」:136件(40.96%)
  - ②「交通事故」:95件(28.61%)
  - ③「建物等による事故」:70件(20.83%)

## 市町別事故種別救助出動件数・救助人員

令和4年中

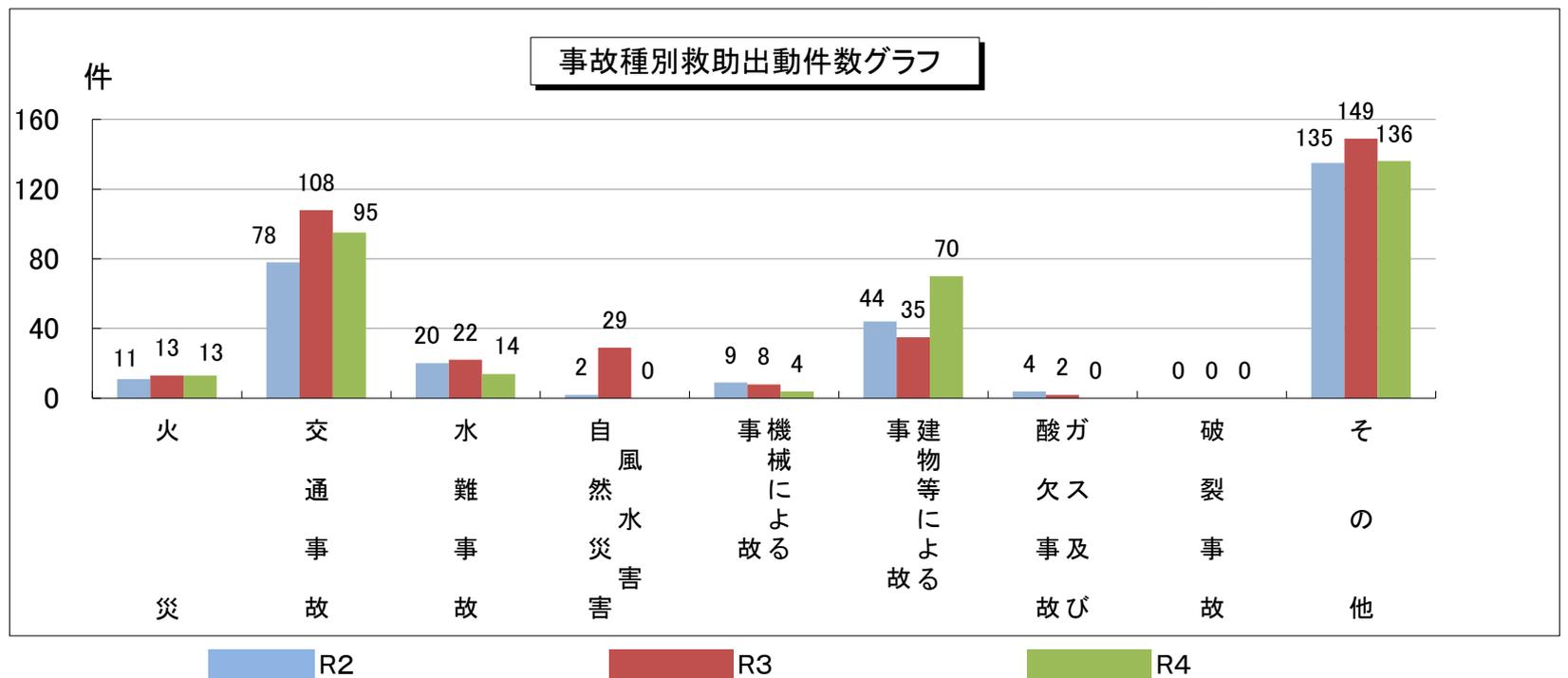
事故種別		市 町						合計
		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	
火 災	出動件数	10	1	1		1		13
	救助人員	2	1					3
交 通 事 故	出動件数	51	6	8	12	4	14	95
	救助人員	28	5	2	7	2	11	55
水 難 事 故	出動件数	14						14
	救助人員	10						10
風 水 害 害 自 然 災 害	出動件数							0
	救助人員							0
機 械 に よ る 事 故	出動件数	2	1			1		4
	救助人員	2	1			1		4
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	57	4	6	1	2		70
	救助人員	36	4	2	1	2		45
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
破 裂 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
そ の 他	出動件数	82	14	10	19	8	3	136
	救助人員	43	5	6	14	3	0	71
合 計	出動件数	216	26	25	32	16	17	332
	救助人員	121	16	10	22	8	11	188



過去3年間の事故種別救助出動件数

年 事故種別		令和2年							令和3年							令和4年						
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計
火災	出動件数	8	1	1		1		11	9	1	1	1	1		13	10	1	1		1		13
	救助人員	7						7	1						1	2	1					3
交通事故	出動件数	34	5	9	13	7	10	78	61	7	18	14	3	5	108	51	6	8	12	4	14	95
	救助人員	24	8	8	13	2	3	58	20	5	16	6	1	2	50	28	5	2	7	2	11	55
水難事故	出動件数	13	1	1	4	1		20	12	1	3	5	1		22	14						14
	救助人員	8	1	1	2	1		13	5	1	2	2	1		11	10						10
風水害 自然災害	出動件数	1			1			2	12	4	3	10			29							0
	救助人員				1			1	51		3	14			68							0
機械による 事故	出動件数	4	1		4			9	3	1	1	1	2		8	2	1			1		4
	救助人員	3			2			5	2		1	1	1		5	2	1			1		4
建物等による 事故	出動件数	33	2	6	2	1		44	26	2	5	2			35	57	4	6	1	2		70
	救助人員	29	1	4	1	2		37	18	1	3	1			23	36	4	2	1	2		45
ガス及び 酸欠事故	出動件数	3		1				4	2						2							0
	救助人員	2		1				3	0						0							0
破裂事故	出動件数							0							0							0
	救助人員							0							0							0
その他	出動件数	87	12	16	8	7	5	135	90	15	26	11	3	4	149	82	14	10	19	8	3	136
	救助人員	51	6	7	4	2		70	49	7	11	5	1	1	74	43	5	6	14	3		71
計	出動件数	183	22	34	32	17	15	303	215	31	57	44	10	9	366	216	26	25	32	16	17	332
	救助人員	124	16	21	23	7	3	194	146	14	36	29	4	3	232	121	16	10	22	8	11	188

※ 上段は出動件数、下段は救助人員を示す。



IV 警戒

警戒出動の種別

災害種別	摘要
油漏えい	交通事故等により、ガソリンなどの油類の危険物質が漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
ガス漏えい	都市ガス、プロパンガス、その他の引火性又は有毒性のガスが漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
火災警報器等発報	火災等の発生により、火災警報器等が発報したことを覚知した場合の出動をいう。
救急活動支援	救急車出動時の消防隊による活動支援のための出動をいう。
その他	前に掲げるもののほか、次の出動をいう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風、大雨等の自然災害により人命に危険が予想される場合の出動</li> <li>・ドクターヘリ等の場外離発着時における危険排除のための出動</li> <li>・火災と紛らわしい発煙を覚知した場合の出動</li> </ul>

令和4年中の警戒出動概要

- 令和4年中の警戒出動件数:2,723件(前年比:+518件)
- 災害種別ごとの主な内訳
  - ① 救急活動支援:2,147件(78.85%)
  - ② その他:324件(11.90%)
  - ③ 火災警報器等発報:187件(6.87%)

事故種別警戒出動状況

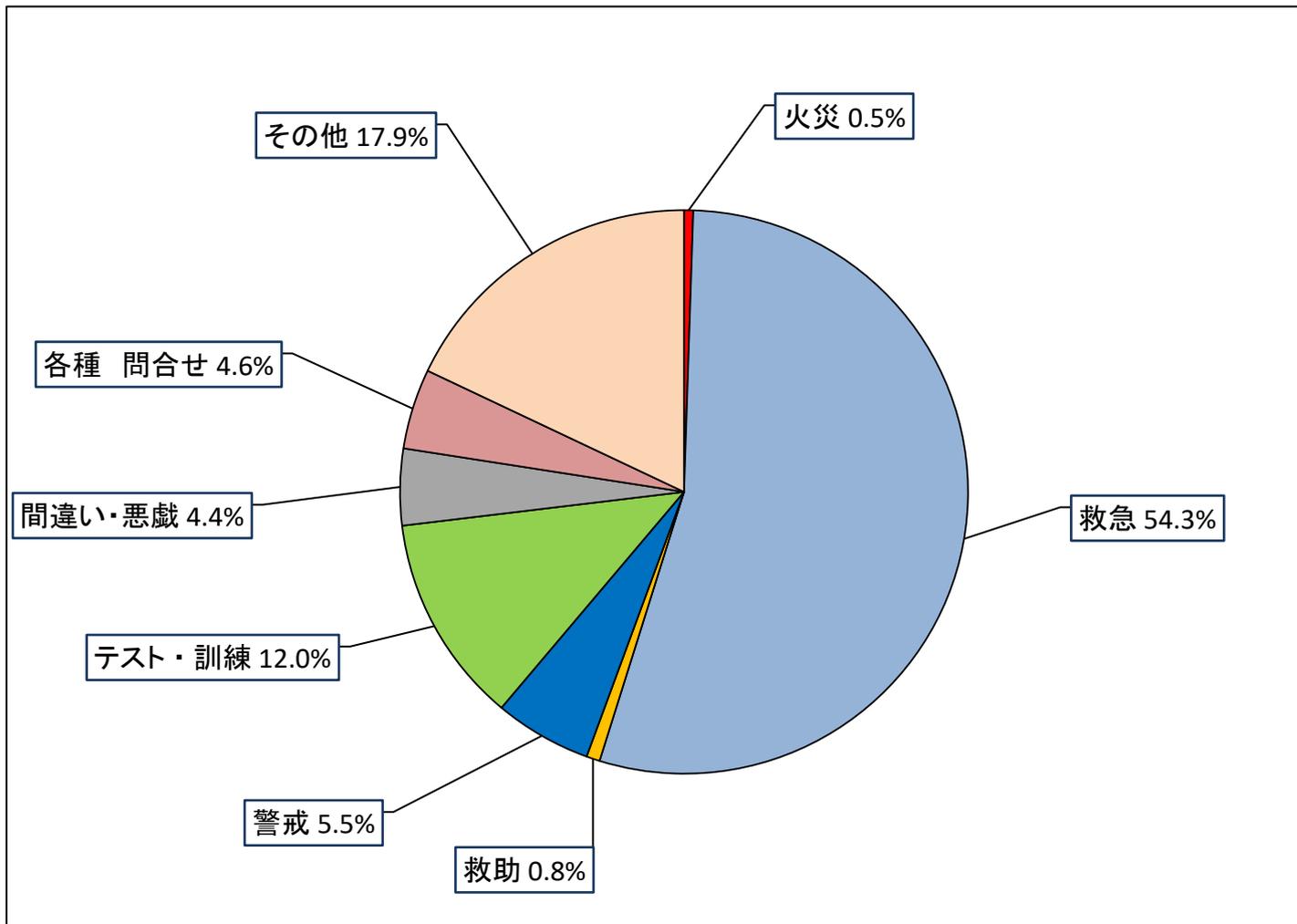
令和4年中

事故種別	市町	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	計
油漏えい		41	8	3	5	5		62
ガス漏えい		3						3
火災警報器等発報		150	9	12	12	4		187
救急活動支援		1,530	135	209	188	85		2,147
その他		166	38	38	65	17		324
計		1,890	190	262	270	111	0	2,723

令和4年中

種別\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(回)	比率
火災	4	26	13	6	21	6	9	8	11	15	12	18	149	0.5%
救急	1,167	1,148	1,115	1,145	1,226	1,182	1,530	1,549	1,290	1,229	1,280	1,645	15,506	54.3%
救助	26	10	28	15	10	25	14	17	12	13	24	25	219	0.8%
警戒	139	141	124	108	99	121	124	149	144	117	126	189	1,581	5.5%
テスト・訓練	169	376	369	227	305	277	192	185	212	326	390	392	3,420	12.0%
間違い・悪戯	75	67	68	88	106	94	126	141	119	124	103	143	1,254	4.4%
各種問合せ	96	83	102	98	89	94	155	148	105	117	106	121	1,314	4.6%
その他	356	323	417	425	416	404	459	432	499	471	384	534	5,120	17.9%
計(回)	2,032	2,174	2,236	2,112	2,272	2,203	2,609	2,629	2,392	2,412	2,425	3,067	28,563	100.0%

※「その他」には、「他消防本部等への転送」および、「一般業務問い合わせ」、「消防機関の電話番号問い合わせ」などの各種問い合わせが含まれます。



## 施設所在地・連絡先一覧

佐賀広域消防局 〒849-0919 (電話) 0952-30-0111 (代表)  
 佐賀市兵庫北三丁目5番1号 (FAX) 0952-31-2119  
 (E-mail) sagakoiki@chubu.saga.saga.jp  
<https://www.chubu.saga.saga.jp/shobo.html>

総務課	(電話) 0952-33-6763
警防課	(電話) 0952-33-6761
予防課	(電話) 0952-33-6765
情報指令課	(電話) 0952-30-0111 (代表)

(火災問い合わせ) 0952-20-7119

(医療機関問い合わせ) 0952-31-8899

<b>佐賀消防署</b>	〒849-0919 佐賀市兵庫北三丁目5番1号	(電話) 0952-33-6771(庶務課) (電話) 0952-33-6767(消防課) (電話) 0952-33-6775(救急課) (電話) 0952-33-6773(予防指導課) (FAX) 0952-32-1838
西分署	〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸1357番地1	(電話) 0952-25-3320 (FAX) 0952-25-4727
東分署	〒840-0012 佐賀市北川副町大字光法1137番地	(電話) 0952-27-1339 (FAX) 0952-27-1379
<b>多久消防署</b>	〒846-0002 多久市北多久町大字小侍22番地1	(電話) 0952-75-2191 (FAX) 0952-75-2696
多久南西出張所	〒846-0031 多久市多久町1776番地30	(電話) 0952-97-7119 (FAX) 0952-97-8119
<b>南部消防署</b>	〒840-2213 佐賀市川副町大字鹿江1152番地1	(電話) 0952-45-6442 (FAX) 0952-45-4930
久保田出張所	〒849-0202 佐賀市久保田町大字久富450番地13	(電話) 0952-68-3248 (FAX) 0952-68-3246
<b>北部消防署</b>	〒840-0211 佐賀市大和町大字東山田2739番地	(電話) 0952-62-3442 (FAX) 0952-62-1926
富士出張所	〒840-0522 佐賀市富士町大字畑瀬68番地30	(電話) 0952-58-2811 (FAX) 0952-58-2812
<b>小城消防署</b>	〒849-0301 小城市牛津町乙柳894番地1	(電話) 0952-66-1541 (FAX) 0952-66-1542
北分署	〒845-0002 小城市小城町畑田2626番地12	(電話) 0952-73-9919 (FAX) 0952-73-9922
<b>神埼消防署</b>	〒842-0006 神埼市神埼町枝ヶ里184番地1	(電話) 0952-52-3291 (FAX) 0952-53-2174
三脊出張所	〒842-0302 佐賀市三瀬村藤原2938番地1	(電話) 0952-56-2009 (FAX) 0952-56-2185
吉野ヶ里出張所	〒842-0102 神埼郡吉野ヶ里町石動2792番地4	(電話) 0952-53-0541 (FAX) 0952-53-0542